夕刊
新京日日新聞
新京永樂町四丁目一番地　新京日日新聞社發行所
發行人　十河忠男　編輯人　松本　印刷人　谷慶二郎

照會に忙殺される 經濟事情案内所
中には虫のよいのも往々ある

極寒さ匪賊、これは新興滿洲國を志し、若干の資本を抗じて、何さか不況を轉換しようと思ひつつも決心のつきかねてゐた渡滿希望の内地中小商工業者の頭痛の種であつたが寒氣は一枚一枚めくる暦と共に薄れて春風が立つて來たし匪賊の心配も熱河肅淸の工作が完成するに從つて各地の小匪共も影をひそめつつあるのでぼつぼつこれらの人達も渡滿を準備してゐる新京經濟事情案内所は創立早々目もまだ淺いがこう云つた中小商工業者の善き紹介者となり、親切なアドバイザーとなつて正しい認識を注ぎこみながら誘導に努めてゐる

最近の同所照會控えをのぞかせてもらばふ例の一樺太敷香町の蒲鉾研究會、この名も知られてゐない小さな港町にも滿洲熱が横溢して渡滿の準備を進めてゐるから、渡滿後手違ひのないやう具体的な移住の忠告を依頼してゐる

例の二、新潟縣長岡市の一酒造家は「高粱酒釀造業種原料」は如何なるものが適當か、又新京の酒造所は何軒か

例の三、吉長沿線か東支沿線に農業移民をしたいのだが、それには如何なる手續がゐるだらうか、又北滿の「アルカリ性土の分布狀態」はどうであるか、鐵道沿線からの距離は何里位まで匪賊の妨害を避けて業に樂しむ事が出來るかと各方面から廣範に亘つて眞劍なもの、與太氣半分を交へたもの、專門的に精密な調査を依頼したもの等々種々雜多であるが漠然とした調査依頼が少くない「織物」を輸出したいが滿洲國の輸入税率如何といふのがあるが織物も毛絹、木綿、レーヨン、麻、雜織と種類も多く從つて税率も個々に差があるのだから、その一つ一つに答へて採算がとれるや否やを調査するものも並大抵な事ではない

苦笑を禁じ得ないのは、自分で調査をしたいのだが、二三ヶ月の間有効に最も安く貴地に滯留する法如何等旅行案内所と同一視したのがある

之を要するに之らの現象は日本の財界不況の下敷きになつて四苦八苦辛じて喘いでゐる中小商工業者が僅少な貯蓄を傾けて、滿洲に活路を求め樣としてゐる可憐なプロフィルであるから、日本生命線のパイオニヤーたる滿洲にゐる者は自分たちの特權を侵されやしないかさ云ふやうな狹小な島國根性をすてて廣い胸襟を以つて之らの人達を迎へてやりたいものだ

三井大變動 八郎右衛門男の引退で

（東京十九日發國通）三井合名では八郎右衛門男引退したがこれを機會に今後關係事業は各方面とも有能な人に名實共に實權を與へ、三井一家の人々は合名を除き、直系會社の社長職を退く事と内定せる模様で各社長の任期滿了後漸次實現されるものの如し、即ち現在でも創立日淺き三井生命、三井信託は、故團氏や、米山梅吉氏が就任したやうに三井物産、三井鑛山、三井銀行も安川雄之助氏や牧田環氏池田成彬氏が社長に就任するものと見られて居る

白國の新駐米大使に ルーテル博士

（ベルギー十八日發國通）前國立銀行總裁ルーテル博士は十八日駐米大使に任命された

日銀正副總裁は 依然再任の説

（東京十九日發國通）日銀正副總裁、土方深井兩氏の任期は孰れも五月滿了し、後任として總裁に馬場勸銀總裁、結城興銀總裁の呼聲があるが、高橋藏相健在する限り、土方、深井兩氏共再任するさ視られてゐる

陸軍異動續き

（東京十八日發電通）

…旅團長
同　伊丹　政吉
補東京幼年學校長
同　[illegible]田利信
補陸軍大學校教官
同　東條　英機
補參謀本部附
陸軍少將　井上　乙彦
補教育總監部附
第二師團軍醫部長
軍醫監　龜井　盛隆
補第四師團軍醫部長
軍事參議官
陸軍大將　井上幾太郎
同　鈴木　孝雄
東京警備司令官
陸軍中將　木原　清
第十六師團長
同　山本　鶴一
第十九師團長
同　森　壽
第十一師團長
同　厚東篤太郎
第二師團司令部附

陸軍少將　飯田　貞固
補騎兵第三旅團長
同　佐藤　正
補第八師團司令部附
同　德野外次郎
補步兵第三十七旅團長
陸軍造兵廠作業部長
陸軍少將　津田藤左衛門
補陸軍造兵廠火工廠長
同　林　之介
補陸軍造兵廠作業部長
同　本川　省三
補步兵第十八旅團長
野戰重砲兵第二旅團長
同　時乘　壽
補豐豫要塞司令官
東京警備參謀長
同　島　省
補野戰重砲兵第二旅團長
陸軍兵器本廠附
陸軍少將　大谷　龜藏
補東京警備參謀長
同　磯谷　廉介
補陸軍兵器本廠附
同　栗原　寛
補第五師團司令部附
同　小林角太郎
補步兵第十旅團長
陸軍騎兵學校長
同　宇佐美興屋
補第一師團司令部附
騎兵第二旅團長
陸軍少將　原　常成
補陸軍騎兵學校長
陸軍騎兵學校教育部長
同　蓮沼　蕃

同　[illegible]
同　島永　太郎
同　飯田恒次郎
同　市瀬　源助
第八師團司令部附
陸軍少將　石坂　弘紀
步兵第三十七旅團長
同　古賀　徹治
步兵第十八旅團長
陸軍少將　小野　幸吉
豐豫要塞司令官
同　吉本　吉次
第五師團司令部附
同　青木　政
步兵第十旅團長
同　金子　因
近衞師團司令部附
同　小野　弘毅
同　山　六郎
同　横尾　則義
同　石井　豐吉
同　山縣　[illegible]
同　鶴見殿太郎
同　中村半之助
同　仁禮　精粹
同　細田　四郎
同　秋川　正義
同　川邊　三郎
同　安部幸二郎
同　西村　辨
第四師團軍醫部長
軍醫監　中山　直彦
第十二師團獸醫部長
獸醫監　出口　季吉
待命仰付（各通）

米國各銀行 一齊に開業す
恐慌も颱風一過の形 増して思惑氣解消を示す

（ワシントン十八日發國通）ルーズヴエルト大統領の提唱に基き昨十七日議會を通過した緊急銀行法實施の結果、業務を再開した銀行は全國一萬七千六百一行の中十八日午前までに一萬三千五百四十一行に達した、右の中銀行業務の制限を受けてゐる銀行も若干あるが、大部分の銀行は平常通り業務を行つて居り、さしもの金融恐慌も今や漸く颱風一過の形である

日本倉庫協會調査

（東京十九日發國通）日本倉庫協會調査によれば、二月中の入庫（單位千個）
△四日後に出庫　三、四七六
△殘高　一八、五〇一
殘高は前月より六十七萬個激

青島向輸出品の爲 郵商兩社から臨時配船

（東京十九日發國通）青島向け輸出依然活氣を呈し、郵船では笠置丸を臨時配給に決定し、昨日神戸發青島に向つたが、大阪商船でも臨時配船を行つて居る

丁超 奉天商埠地に居住

歸順した丁超は今度滿洲國側の諒解を得て奉天商埠地五經路に居住することとなつた（奉天）

熱河省事情（四）

又、木蘭圍場の巡幸に從ふ者も此地に集り、從つて商店以外に諸種の商店も出來たので、熱河は塞外第一の繁華な町を現出した、屢々の巡遊塞外の陸地に開墾すべきところの多い事を見た康熙帝は、農耕の利益を論じ、農民を招集して大いに開墾を奬勵したので、移民も鋤を負ふて此の地に來る者も日に激增して、僅か三四十年の間に熱河附近の荒蕪の草地は忽ちに熟田となり、關内と異らない樣になつた、そこで清朝政府では熱河理事廳を置き、又副防兵を置いてその總管を設けた。

併し、次の雍正帝時代には遂に熱河の巡幸なく、行宮も暫く寂寞であつたが乾隆帝が立つに及んで、熱河は康熙帝時代以上の繁盛を實現し、從前の總管を改めて副都統とし都統とし、兵備道を置き、府州縣を設ける等、殆んど塞外塞内の區別がなくなつたもの樣であつた。康熙帝時代、山莊は唯三十六景よつたに過ぎなかつたものを乾隆帝は更に三十六景を添設して帝親ら詩を詠じ、諸臣をしてこれに和せしめた、又、熱河地方に設けられた行宮も、從前は八處であつたものを十三處として巡遊の便に供へたものである

巴克什營行宮（古北口外約十支里）康熙四十九年建
兩間房行宮（古北口外四十餘支里）同　四十一年建
常山峪行宮（兩間房東北三十三支里）同　五十九年建
喀喇河屯行宮（熱河行宮西南三十五支里）同　十六年建
釣魚臺行宮（同上東北十三里）乾隆七年建
黃土坎行宮（釣魚臺東北十三支里）康熙五十六年建
中關行宮（黃土〇東北七十七支里）同　五十一年建
什巴爾臺行宮（中關北二十七支里）同　五十九年建
波羅河屯行宮（什巴爾臺北十八支里）同　四十二年建
張三營行宮（波羅河東北六十二支里）同　四十二年建
濟爾哈朗圖行宮（波羅河屯西北六十二支里）乾隆二十四年建
阿穆呼朗圖行宮濟爾哈朗圖北四十二支里）同　二十八年建

（隨變紀恩に口内行宮三、口外行宮八さあるも八處の名も右と符合せず。たぶん其後改廢があつたものと思はれる）

かくして熱河の避暑山莊は派手な乾隆帝に依つて益々輪奐の美を成し、山莊の内外共規模が整つた。

莊内の寺觀と郊外の八大廟

其他に特筆すべきものは寺廟の建築である

もと康熙帝は山莊内に寺廟を一つも造らなかつた。唯莊外に溥仁・溥善の二寺を建てたのみである。これとても前者は人民の寄進したのに嘉納し、後者は康熙帝六旬の年祝に蒙古諸王公が寄進したのである

怪人凱歌（百七十八）

須藤鐘一　（畫）濱秋方

邪推（二）

麗子は眩暈を感じて、ふらふらとあづまやのベンチに腰を落して兩眼を掩うた。

彼女は、今、思ひもかけぬものを見たのである。それは、もう此の世にゐない筈の夏木恒夫の姿であつた。彼は、とつくの昔、茅ケ崎の寓居で血を吐いて死んだのである。それからもう十五六年の歳月は流れた。

麗子は、一時は時々思ひ出す事がないでもなかつたが、眼前の慶事に紛れて深くは其の思ひ出を追うた事もなかつた。殊に此の四五年といふものは、つい思ひ出した事もなかつたのであるが、突然、今、眼前一町とは離れぬところに、此方へ變つて來る彼の姿を見、病みやつれた其の顏を見ようとは！

彼女は喘し、あまりに不思議だつたので、頭をふるつて、もう一度其の邊を覗くやうにして見たが、もう其の姿は何處へ行つたのか眼に入らなかつた。

彼女はぞくぞくと身内に戰慄を覺え出したので、急いで母家へ引つかへして來た。

『奥樣、どう遊ばしました？』

婆やが呆れ顏でたづねた。さつき出て行つた時の、ほんのりと上氣した美しい顏とは、うつて變つた蒼白い色と、おびえに顫へてゐる瞳とを見た彼女は、何か不吉なことがあつたにちがひないと直感した。

しかし、麗子は、

『なんだか急に寒氣がしてね』

とだけで、多くを語らなかつた。

『まだ春と申しましても、夕方はお寒うございますから……お風を召しますといけません。早くお入り遊ばせ』

婆やに促されて麗子は茶の間に入り、長火鉢の前に座つた。

未亡人になつてから吸ひ覺えた煙草に火をつけ、二口三口吸つて見たが、すぐに灰の中へさしてしまつた。

婆やが慰め顏に話しかけたり、いろんなものを勧めたりするのがうるさくてたまらなかつた。

『わたし頭痛がするやうだから、寢みますよ』

といつて、彼女は奥の間に入つてしまつた。

『きつとお風かも知れませんから、お藥を召しあがりませんか。アスピリン錠でも？』

仔細を知らぬ婆やは寢床をのべてから、氣づかはしげに主人の顏色をうかがひながら云ふのである。

『なに、そんなに大した事はないだらう。少しぢつとしてゐたらすぐに癒りますよ』

と云つて、麗子は布團に顏をうづめてしまつた。

さつき見た夏木恒夫の姿が、眼の底に執拗にこびりついて離れぬ。彼女は珍らしく昔の事どもを、それからそれへと思ひ出すのであつた。――自分の薄情を顧ふさもしい心から、愛人の悲慘な最期を見とどけもせず、天野のやうな惡黨の手に其の始末をまかせたのは、一生の過ちであつた。――自分が現に手を下さないにしても、やはり罪は自分にあるのだ。恐ろしい鬼のやうな自分の心！

その當時は眼がくらんでゐて、ハッキリしなかつた自分のおぞましい實相が、今に及んでまざまざと眼前にあばかれたのである。

『さう云へば二人の子供たちも家を出たきり便りがない。今頃はどこにどうしてゐるのか、故人の靈はそれを案じて、あんな幻影を見せるのではあるまいか。……』

麗子はあまりに自分の無責任な放任と自堕落とを顧みて、心臓を咬み裂かれるやうな自責を感ずるのであつた。

夢とも現ともない時がたつ……。それが幾分間であつたか分らなかつた。

惡夢にうなされてゐるやうな恐ろしい幽境をさまよひながら、彼女は頻りに救ひを呼ばうとしたが、どうしても聲を出すことが出來なかつた。

で、たまらんたまらんと呻吟するばかり、總身に冷汗が出てべツとりと氣味惡く寢間着が濡れた。

『おく樣……おく樣……』

かすかに枕元で呼ぶ聲。

延長か總辭職か
齋藤内閣の運命如何
政友會方面の觀測

〔東京十九日發國通〕現下の時局に對する政友會首腦部の意向を綜合すれば、現内閣がその使命を果した以上第六十二議會終了後適當の時機に總辭職する事は極めて

＝白明＝な事實であるが、事政界に關するを以つて何時如何なる變調を來すやも計り難くその動向は警戒を要する、即ち現内閣の存續を希望する一派は擧國内閣の再現を運動しつゝあるがこれらは重臣方面並に薩派方面との聯絡を執りつゝあるから輕視する能はず、依つて政友會としてはこの種の陰謀を極力排擊して、今議會終了直後高橋藏相と齋藤總理に對して一應考慮を促す必要あり、又この際注意すべきは司法省内の不祥事件で、小山法相が引責辭任すれば齋藤總理も連帶責任上總辭職することになるべく、その結果某重大事件に伴つて引責するが如きは政治的閲歷上に

＝面白＝からずとの見地から高橋藏相も積極的に引退希望論を唱道してゐるので總辭職を劃策しつゝあるものゝやうである

尚ほ筆頭總務には島田俊雄氏政務調査會々長には若宮貞夫氏の呼聲が高い

まだ總辭職すまい
民政黨の觀測

〔東京十九日發國通〕政局の前途を重大視して民政黨では警戒してゐるが、最近の情報では齋藤總理の側近者中には議會後適當な時期に閣僚を勇退させたい希望を以つて、齋藤總理を動かさんとした者もあるが齋藤總理も近頃大分健康で無責任に辭められず、高橋藏相の辭職說も傳へられたが最近此の儘やつて行かうとの心境變化したとも傳へられ、黨内多數は此の儘現内閣の延命を希望し、已むを得ねば鈴木若槻兩總裁を入閣せしめ、擧國一致内閣に改造せよとの意見有力だ、もつとも一部には現内閣の總辭職は時期の問題で、此の際民政黨で寧ろ政權が政友に落つる憲政常道に復歸さすべしとの意見もあるが、これは少數だ

注目される
政友會議員改選

〔東京十九日發國通〕政友會の總務幹事長幹事、政務調査會長の任期は三月末日で終了する筈で來る二十八日若しくは二十九日に開かれる議員總會で新幹部の發表を見る筈であるが役員問題の中心は、幹事長問題に集中されてゐる、現在新幹事長の下馬評には松野鶴平山崎達之輔、加藤久米四郎、砂田重政、熊谷巖、田邊七六、中島知久平、内田信哉の諸氏が數へられ、從つて立候補亂立の爲めに暗中飛躍が猛烈に試みられてゐるが各派勢力關係から圓滿解決の方策として黨内一部には前幹事長山口義一氏の重任を希望する向もある、然し議會後の政變が豫想されて居りその際鈴木内閣が出現すれば、幹事長は内閣組織の樞機に參畫すべき重要の椅子にあるので鈴木總裁が果して何人を任命するか最も興味をもつて見られてゐるが、今回の役員選擧を機會に從來の大幹事長制を改廢して筆頭總務制を復活する意圖であるかの如く言はれてゐる

貴族院側も
見透しつかず

〔東京十九日發國通〕現内閣の議會直後の挂冠說に貴族院でも狐疑狀態で齋藤總理は優柔不斷で非常時局の擔當能力なく、書記官長の更迭は一時的の改造に過ぎず、殊に高橋藏相の健康問題、小山法相、鳩山文相の責任問題、更に聯盟脫退に至つた責任者として内田外相を勇退せしめ、名實共に帝國外交を一新すべきだとの意見あり、内閣の前途も止むを得ぬと觀測してゐるが、民政系は延命說を固持して居り、貴族院として政局の的確な見透自信なき模樣

民政黨松田
幹事長語る

〔東京十九日發國通〕民政黨松田幹事長は語る

最近政局の一部に今議會終了後に對する政局の前途につき諸說流布されてゐるが内外の時局は齋藤内閣が出現した當時よりも一層重大化し、擧國一致してこの難局に當らなければならぬ齋藤内閣は今議會に於て既に豫算案を始めとして種々の重要法案を通過成立せしめた以上、これが實施については勿論の事今の非常時局を眞に打開することこそ天下の民衆に對する義務であり、又責任でもあるから更に一段の努力を拂ひ政府の運用に當るべきであつて、決して政府が責任を廻避して辭職すべきものではない更に政黨としてはこの場合己を瞞着して一切の政爭を中止し、黨勢の消長の如きは之を度外視し國難に殉ずる覺悟でなければならぬこの精神で國難に當つてこそ政黨の信用は恢復し且政治の形態を憲政の常道に引戻す唯一絕對の道である

新議事堂の
竣成見込み立たず

〔東京發〕新議事堂は既に内部設備を終つたが財政難のため目下の所竣成の見込さへ立たぬので貴衆兩院に於ても之が工事促進につき屢々要望があるが十八日も豫算總會席上堀切大藏次官より左の如く完成難の事情を述べ諒解を求めた

一、赤字財政の折柄工事繰上評價を計上しても思ふやうに行かぬのでせめて現在豫算範圍内で出來る限り努力す

一、議場内の家具飾付け等についても出來るだけ現議院のものを使用間に合せるつもりである

一、新議院使用に當り現在の貴議院建築を新聞記者等の側に移轉し、之を新聞記者等の事務所と爲すやう調査してゐる

八年度の總豫算
廿三億一千萬圓に達す

〔東京十九日發國通〕滿洲事件費、兵備充實費、時局救濟費等の緊急必要により、八年度豫算は廿二億三千九百萬圓といふ我國歲計史上未曾有の巨額に上つたが、其の後滿洲事件費救恤金、北海道災害救濟費、海軍工廠資金補足金、其他臨時に計上すべき必要ある額六千四百萬圓を追加豫算として計上したので總額廿三億三百萬圓に達し、既に衆議院を通過、二三日中に貴族院を通過の運びとなつて居る然るに三陸地方の大震災で、又應急施設の必要を生じ僅かな豫備金支出で足らず、内務農林其他關係各省の要求額一千萬圓に達し、然も會期余す所數日で、全額承認は不可能で結局半額五百萬圓程度で之を承認し、八年度豫算は、總額廿三億一千萬圓に達するであらう

永井獨大使
昨夜鳩で着京す
新京には二日滯在

前外務次官新任ドイツ全權大使永井松三氏は栗山秘書帶同十九日午後七時五十分着列車で來京驛頭には栗原總領事以下多數の出迎へあり大和ホテルに入つたが往訪の記者に語る

聯盟問題やドイツの政情は途中各地の新聞に載つてゐる通りでとやかく云ふ筋合でなく、新京には二日ばかり滯在し、一井書記生の來着を待つて途中吉林に當りシベリヤ經由で赴任するつもりだ、ここではまだ誰に會ふとも決つてゐないが舊知の人ともあつて見やうと思ふ

對滿政策決議案
各派有志より提出

〔東京發〕衆議院各派有志議員より成る對滿政策同志會は十八日院内に協議の結果左の對滿政策に關する決議案を提出する事となつた

政府は時局重大性に鑑み速に對滿政策の遂行を期すべし

小賢しくも蔣
長城奪還を命ず
山海關方面にも攻勢

〔山海關十九日發國通〕蔣介石は長城奪還の命令を下した模樣で、昨十八日午後十一時頃山海關前面に配置の我下士哨は敵の射擊を受けたるも、之に應ぜず、只管嚴戒に意を注いで居る、かゝる事態より見て蔣の長城線奪還命令は確實と思惟される

長城の各小路口も
我軍引續占據

〔錦州十九日發國通〕風雲を孕んで長城の線に對峙中の我軍は長城の大通路を殆ど占據せしも、無數の小通路口は未だ押へるに至らず、引續き逐次之等小通路口の占據を行つてゐる

支那軍の
死傷約六千

〔錦州十九日發國通〕今次熱河討伐以來、我猛烈果敢なる攻擊に慘敗の支那軍の蒙つた死傷は約六千と見られる

滿洲國軍の
大活躍

〔奉天十九日發國通〕東邊道の匪賊討伐に參加し連日連夜活躍を續けつゝある、鴨江地區司令部の鄭大隊は十七日午後通化縣小東化附近で德興海の率ゐる百數十名の匪賊と遭遇し、これと敵戰を交へ夕刻に至り一旦戰鬪を中止して匪團と對峙のまゝ無氣味な一夜を明かし翌十八日拂曉再び猛擊を浴せ午前八時頃漸くこれを擊退した、此の戰鬪に於て十餘名の決死隊は身を挺して敵陣に突入し、合流匪首青山好來順の二名を捕へ、辛くも活路を開いて凱歌を擧げたが此の奮鬪振りには流石の賊匪も啞然として、今更乍ら滿洲

探算上より見たる（二）
滿蒙牛の輸出事情

三飼育の目的

蒙古牛の飼育目的は農耕地帶では耕作勞役にも用ひらるゝが、放牧地帶では繁殖を目的とし其乳を搾つて種々の乳製品を作製し之を日常の食料としてゐる。

即ち乳油、乳豆腐等のものを作るが其乳量は劣等で出盛りの時でも四、五升位を最高とし叉搾乳の期間も短く、日本内地牧場に於けるが如く一斗五升、二斗等の乳量を有するものには比すべくもない

是に反して滿洲牛は乳より肉に重きを置くが、其の體重は牝四、五十貫より七、八十貫、牡六、七十貫より百二十貫位にして到底内地牛、朝鮮牛等と比較にならぬ程矮小である。

四食用肉としての價値

食卓用としての價値は滿洲牛が前述の如く脂肪も多く蒙古牛に比して稍良好であるが總じて滿洲蒙古牛とも品質成分等に於ては山東内地、朝鮮牛に比し劣等である。

特に蒙古牛は脂肪の沈積不充分のため食卓用としては不向であるが、但し適當な肥育を行つたものは剝燒用としても却つて山東牛に優れた點がある。

脂肪は滿洲蒙古牛とも褐黃色乃至褐黃白色であつて一般に肉量少く表面にのみ附着し霜降肉にならないのである。

五肥育

肥育とは牧牛を良肉牛と爲すため大きく肥滿させる事であつて居留所在の各地で行はれる、是は各地の回敎徒の牛肉商に依り三、四個月間粟稈高粱、酒粕、豆粕等で飼はれた後屠殺せらるゝものであつて、此間に重量一〇貫乃至三〇貫を增加すと謂はれて居る肥育には相當大なる資本を要し新京、奉天等には規模大なるものが存在するが其他の地では之を爲し得ぬ爲牛商が買付より賣却迄牧場にストックし置く間肥育を行ふ程度であつて本格的の肥育ではない、故に新京地方の牛は前述の如く肥育を伍さざる滿蒙牛即ち放牧のまゝの牛は到底食卓用としての價値なく、罐詰用として内地に輸出せらるゝものである。

即ち罐詰には脂肪のないものが最適であつて、主として廣島及阪神地方に送付されるが、然し乍ら近年輸出品中にも前述の肥育良き若干の輸出品を見て居り、今後肥育其他に依る肉質の改良と冷藏裝置の完全と相俟つて、食卓用としての肉も輸出の增加を見るに至るものと思はれる。

枝肉とは骨付のまゝのものであつて、精肉とは骨を取除いた肉を云ふのである、而して枝肉を送る有利な點は「肉いたみせぬ」點であつて、不利な點は骨にも運賃を負擔する事である、從つて「肉いたみ」に重點を置く小賣用の肉は枝肉、輸送すら、取扱に不便な大きな安中包が乙である。

然し罐詰用肉で麻袋包ひのものは價格低廉な輸出品と見て差支へないのである。

六滿蒙牛の改良

滿蒙牛の改良に就て公主嶺農事試驗場畜產科に就て見聞するに、同處に飼養の短角牛（昭和二年米國より購入したもの）を以て同地附近の在來牛に交配し改良を行つてゐるが其數は數ふるに足らぬ、蒙古にある華興農協（大倉經營）では直接滿鐵農務課よりの種牛を用ひて蒙古牛の改良に努力してゐるが、其成績は羊（主としてメリノー種）豚、（バークシャ種）が異常なる良好成績を示した程積極的でなく、また羊豚の樣に古い歷史を有たない爲數字的にその結果を擧げ得なかつたのは遺憾である。

小柳津支隊
經棚入城

國軍の目覺ましい進展振りに舌を卷いて居たと、尙逮捕された兩匪首は近く奉天に護送される筈である

〔赤峰十九日發國通〕林西に在る小柳津支隊の村井中尉の指揮する一部隊は十八日愈々經棚に入城した

守島アジア
第一課長
滿支視察に赴く

〔東京〕外務省亞細亞局第一課長守島伍郎氏は二十四日東京發、滿洲及北支の視察に赴くことになつた

韓復渠
北平に向ふ

〔天津十九日發國通〕韓復渠は本朝濟南出發午前十時五分天津着、于學忠をはじめ各要人と懇談、十二時十分當地發北平に向つた北平で何應欽と會見、更に保定に赴き蔣介石と北支時局につき協議をなす筈で、右協議の結果により韓復渠軍の二個師が某所附近まで北上する模樣である

喜峰口前面の
支那軍
一溜りもなく潰亂

〔喜峰口十九日發國通〕十八日午後より日沒にかけての激戰で服部部隊の猛擊に遭ひ、一たまりもなく潰亂した喜峰口前面の敵（宋哲元軍の主力）は周章狼狽夜を徹して灤河を渡り灤河の線に沿ひ北は小關莊、南は北關亭莊にかけ五邦里に亘る塹壕を構築しつつあり、愈々長期持久戰に入らんとするものゝ如くである

潘家口南北の
高地を占據す

喜峰口正面にあつて執拗に服部部隊に抵抗を續けてゐた敵は十七日夜半から退却をはじめた模樣で十八日朝には孤兒嶺及胡家店附近一帶に敵影を見ざるに至つた、唯喜峰口西方約一里潘家口附近は一部の敵が殘つて居たが十八日午後我部隊はこれを攻擊して西方に驅逐し午後五時頃潘家口東側高地を確實に占據し若干の殘敵も又夜半を待つて退却したので十九日には我部隊は潘家口南方及北方の高地を占據した我には何等の損害なく敵は相當の損害を生じた見込である

孤兒嶺一帶
既に敵影なし
潘家口周圍の敵退散

〔喜峰口廿日發國通〕喜峰口正面にあつて執拗に我が服部部隊に抵抗を續けて居た敵は十七日夜半から退却を始めた模樣で、十八日朝には孤兒嶺及胡家店附近一帶に敵影を見ざるに至つた

喜峰口西方約一里の潘家口附近に一部の敵が殘つて居たが十八日午後我部隊は之を攻擊して西方に驅逐し、午後五時頃潘家口東側高地を確實に占領し、附近の敵も又夜半を待つて退却したので、十九日朝には我部隊は潘家口南方及北方の高地を占領した、我に損害なく、敵には相當の損害を生じた見込である

商震軍の來着
山海關前面騷ぐ

〔山海關十九日發國通〕昨夕刻より山海關秦皇島間の交通は支那軍の爲めに絕對阻止されつつあり、何柱國軍は長城死守の命を受け冷口、石門方面に向ひ大移動を開始したが何軍の後には商震軍が交代來着して居り、これが爲め同方面の人心極度に動搖して混沌たるものがある

我代表部
マック提案
研究中

〔ジユネーヴ十八日發國通〕我が代表部は首相マクドナルド提出した新軍縮案を研究中であるが、結局第一部以外即ち軍縮の技術的方面に於ては陸海軍とも日本に取つて大體受諾し得る案である事が分つたが、問題になるのは第一部安全保障の部分であつて技術的考慮よりも寧ろ政治的考慮を要するもので、代表部は政府からの訓令と松平氏の到着を待つてゐる

聯盟の假面は
完全に剝がれた
東亞人は東亞に歸れ
―石原大佐語る―

〔マンチユリ十九日發國通〕聯盟代表部引揚げの先發隊石原大佐一行は十八日來滿し左の如く語る

痛快だつたのは聯盟は正義の假面に隱れて私利私慾をやり、英佛大國がその音頭取りであることが暴露したことだ、こんな聯盟と折衝するのは汚辱を感ずる日本人としては日滿協力して滿洲國を築き上げるのが聯盟に對する壺となり、これが完成に吾等は東亞に歸らねばならぬ

春季皇靈祭休刊

廿一日は春季皇靈祭につき恒例により廿二日附朝夕刊を休刊致します

張海鵬將軍
承德に入城す
一兩日中に凱旋せん

〔承德十九日發國通〕十八日赤峰を出發した滿洲國前敵總司令張海鵬將軍は、平泉經由十九日午前十一時部下騎兵隊約三千を率ゐ威風堂々承德離宮に入城し、直ちに〇〇部隊長と會見、種々重要打合せをなした、張將軍は一兩日中に飛行機で新京に凱旋し、執政並に張景惠軍政部總長に今次熱河討伐經過を報告の筈

松平軍縮全權
ジユネーヴ着
佐藤全權も
參加か

〔ジユネーヴ十八日發國通〕松平軍縮全權は軍縮會議出席の爲め、十八日ジユネーヴに到着したが、英國の軍縮條約案の重要性に鑑み、更にベルギー大使佐藤尚武全權もジユネーヴに來るやうになるやも知れず、日本代表部は俄然活氣を呈するに至つた

佛海軍練習艦
上海から長崎に入港

〔長崎十九日發國通〕佛蘭西海軍練習艦ヂヤンヌダーク號（大四九六噸）は十九日午前九時上海より當地に入港した、廿日午後三時より長崎々岸に於て、市及び商工會議所、共同主催の歡迎會を行ふ筈である三日間市内見物後廿三日長崎出帆廿八日神戶に入港の豫定である

石原大佐一行
今日午後着京

〔ハルビン廿日發國通〕軍縮全權隨員石原大佐一行五名は今朝九時着哈、直ちに九時十九分發列車で新京に向つた廿日午後三時卅五分新京着同大佐一行は新京に二泊、奉天に二泊の上歸京する豫定である

警察機白鷹
號の活躍

〔錦州十九日發國通〕全滿の警察官吏、一般在留民の獻金により、三萬五千圓の費用を以て建造された金銀色のフォツクス、モスの警察機「白鷹號」は今次熱河討伐の航空勤務につき、地味な活動を續けて在留民の熱意に叛かず功を建てゝ居るが、十八日錦州飛行場に於て同機操縱者巡查部長田中常吉氏は語る

私達は航空警察隊に屬して居るのであるが、本機は在留邦人の獻金によつて出來たので主として警察官の通信聯絡に從事して居ます、三月八日から錦州、奉天間一日一往復して居ますが、軍用の各種飛行機と違ひまして別段花々しい所はありませんが、機體が小さいものですから、風が少しでもあると難航して苦心します

と述べた、航空警察隊には田中氏の外田上、三國兩氏がある

山内地方係長
來任

新京地方事務所出内地方係長は十八日午後七時五十分着列車で家族同伴來任した。

けふの銀相場

鈔票	金票	九九、壹
大洋	金票	[illegible]
國幣	金票	[illegible]
大洋	鈔票	[illegible]

ラジオ欄

二十一日（火）奉天

奉天後五、〇〇　レコード

錢行金銀相場　商業通信計

新京後五、二〇　觀藝

新京後五、四〇　講演　米國の金融破綻と對滿洲　協和會員　張紹宗

東京後六、〇〇　ニユース　東京中央放送局編輯

新京後六、二〇　時事解說（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニユース

新京後七、三〇　ニユース（英語）

新京後七、四五　ニユース（露西亞語）

新京後八、〇〇　ニユース（朝鮮語）

新京後八、一五　ニユース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告

東京後八、三〇　時報

東京後八、三一　ニユース　東京中央放送局編輯

人事往來

▲張濟樂中將（護國軍副司令）二十日午前八時來京

▲方永昌氏（前熱河民衆自衛軍副司令）同上

▲士斯比（吉林鐵道守備隊司令官）二十日午前八時四十分ハルビンへ

▲河崎顧問（吉林鐵道守備隊司令部）二十日午前九時南行

▲日下內務局長（關東廳）十九日午後七時五十分來京

▲關鐸氏（奉山鐵路局長）十九日午後七時五十分來京

▲劉玉現少將（吉林警備騎兵第一旅長）十九日午後九時來京

▲黃昭誠中將（護國軍第三軍長）十九日午後四時三十分奉天へ

▲夏子明中將（護國軍第一軍長）同上

▲田中清次郎氏（元滿鐵理事）二十日午前八時來京

滿洲國の存在を否認する大阪商船

同社發行の萬國航路地圖には滿洲國は存在せず

既報、大阪屋號その他各種書店で發行の新滿洲國地圖中に滿洲國の國境を舊熱河省境をもつて滿支國境となせる事實は本紙によつて摘發せられ、滿洲國、關東軍司令部等において熟議の結果かくの如き不正の地圖の發賣は一切禁止し、殘部もそれぞく發行元ぐ返却か廢棄處分に附せしめることゝなつたが、右不正地圖にも增して最近各方面に配布、又は發賣された大阪商船發行英文航路圖即ち THE OSAKA SHOSEN KAISHA TRACK CHART なる地圖は如何にも明細に萬國の港々、都市が明記されてゐるにも拘らず、驚くなかれ滿洲國は右萬國地圖の上に存在せず、建國を無視ししかも麗々しく滿洲國内は許より大阪商船の支店、出張所のある列國の先々には殘りなく配布されあり、かくの如きは大阪商船によつて滿洲國の嚴全たる存在を否認せしむる結果となり、絕對的に許容すべきものにあらずとなし、大阪商船の責任を問ふべしとの論强硬に主張せらるに至つた

ヤマトホテルでは地圖の塗換に

右地圖は最近大阪商船から配布せられ新京ヤマトホテルにも到着同ホテル廊下にかけられてゐるがホテルでは流石に右地圖の中へ藍色で滿洲國を現し一般の誤解を防ぎ大滿洲國建國の認識を深めることにつとめてゐる

左記フィルムにより映寫をして閲覽に供する事になつてゐる而して此映畫會には多數の一般民衆が參觀されん事を希望するさ

一、滿洲事變後報　三巻
二、輝く日本の兵隊さん　一巻
三、大日本國民教育映畫讀本　一巻
四、時代劇槍供養　六巻

埼玉海軍機の命名式

（所澤十九日發國通）報告第二十一號埼玉海軍機の獻納命名式は、午前十時から飛行學校で擧行され、大角海相が命名した

妻女の機轉で

强盜一物も得ず逃走

十九日午後八時十五分頃市内祝町五丁目十三番地ママ商島龍ツヤ方へ三人組內（一名が拳銃を所持せる）

『强盜』が裏口硝子一枚を破壞し鍵を取はずし內部に押入り四疊半の間に入りツヤに拳銃を突付け脅迫中ツヤは巧みに逃れ戶外に飛出し强盜々々さ連呼したから隣家及川張衞門方に走り直に電話で右の旨新京署に急報した、屆出に接した同署では倉田司法主任以下全署員を召集『現場』に急行したが、賊はツヤに騷がれ一物を得ず逃走した

代議士の魚屋さん

眞つ赤なウソ

スピード屋へお灸

代議士の魚屋として世間の話題に上つた新京吉野町三丁目魚屋スピード屋主人三井義刀（三五）に對し驟來新京署高等係りでは同人に疑惑の眼を向け內偵の結果代議士になつたことなど全々なく虛構の事實さ判明、事件は更に司法係りの手に移牒され十九日三井の任意出頭を求め倉田主任自ら訊問の結果遂に處罰令「人を惑しむべき言語者又は虛構を偽し又は流布した者は云々」に依り十九日より十日間拘留に處せられるに至つた

虛構の事實

判明した

倉田司法主任は十九日午前十時から三井に就き嚴重取調の結果大體左記の如きは全く嘘でこり固まつた事を各方面に流布してゐた事が判明した、それによるさ

前代議士などはマツカな嘘で昨年十一月中旬彌生館初め二、三の有志に對して自分は滿洲銀行に三萬圓の定期預金があるさ稱しその後某々氏等に山口高商を經て帝大を卒業したものだ必要なら遠慮なく使用し給へさ誠しやかに傳へたので、これを信し某氏は直樣開業早々の事でもあり、三井の言を信じて宣傳ビラを撒いたがその結果他人の電話で三井さは一向關係がない事が明白になりまんまさ三井の虛言にのつてしまつた、尙三井は上海で詐欺犯さし三年間の執行猶豫の刑を受た事があるさ

五八播州丸

黃海上で坐礁

乘組員は救助さる

（京城特電）十七日午後九時林兼第五十八播州丸が黃海航行中山東高角南方約三〇キロ（東徑一二二度三一分、北緯三六度五九分）の海上にて坐礁直ちに同社船第二一、第七十七播州丸救助のため急航したるも同夜は暗夜且つ波浪高きため今曉を待ち救助に努めたる結果乘組員には異常なきも船體は見込みなき模樣である

東京—新京間

タツタ廿時間

日滿定期空陸の聯絡につき

關係省で目下協議中

（東京二十日發國通）帝國政府さ滿洲國さの交通聯絡については鐵道省をはじめ關係各當局では相當の研究を續けてゐるが海路は別さして『陸路』は中間に關門海峽を控えてゐるだけに內地は勿論朝鮮鐵道局及び滿洲國鐵道のスピードアツプを行つても新京まで六、七十時間を要するので鐵道省では將來滿洲國さ提携し空陸の聯絡交通即ち鐵道さ飛行機の聯絡定期運輸を行ふ計畫を樹てゝゐるが、これによるさ、東京、新京間は東京を夜出發して明朝大阪着、大阪より飛行機で福岡經由新京に到着すればこの間僅かに二十時間位で新京に到着することが出來る、前夜東京を出發すればその日のうちには新京に到着することが出來るのでこれを定期交通路さすれば日滿兩國間の交通運輸に新時代を劃すると共に非常な『便利』さなるので遞信、外務、陸軍その他關係各省に民間會社との間に引續き研究、協議が行はれてゐるが、近き將來において愈々實現の運びに至るものと見られてゐる

范家屯分教場

けふ卒業式

范家屯分教場では今二十日午前九時から卒業式を擧行し新京地方事務所長荒木章氏はこれに臨席のため赴范した

米國の兩大映畫社が

滿洲國の詳細

をトーキーに

（奉天十九日發國通）滿洲國の健全なる發達に伴ひ、滿洲國軍の擴充整備も著しく進展し、其行動は漸く一般にも『期待』されるに至つたが、今回米國のパラマウント、フオツクス兩映畫社より之等滿洲國の兵營內に於ける生活訓練狀況等を詳細トーキーに收め米國を始め世界各國に紹介したいさの希望申込みがあつたので、當局に於ては建設途上にある滿洲國の一面を世界に紹介する事は意義ある事さし明二十日午前十一時より奉天北大營にて模擬戰を演じ、其他訓練狀況、兵舍內の生活等を撮影せしめる事さなつた、而して兩映畫社の此の申込みは聯盟に於る滿洲國否認決議さ逆行して、世界各國人が如何に滿洲國に對する認識を『欲求』して居るかを物語るもので、各方面より多大の興味を以て見られて居る

滿線をつなぐ

スピードアツプ

既報、滿鐵大連で開催された滿鐵主催の案內會議で決定され四月一日より實施される事さなつた、東京、新京間のスピードアツプの第一步さして奉天、釜山間の運轉時間を短縮するが、之に伴ひ滿鐵本線及撫順線、營口線（撫順線營口線は追而發表）の一部を次の如く改正を見た

大連發十七列車　奉天着
舊午後十時　午前八時十五分
新午後九時卅分　午前七時三十五分
新京發十六列車　奉天着
舊午後十時　午前七時十五分
新午後十時　午前六時四十五分

四平街便り

各學校の卒業式

（四平街支局發）懷しの母校を去るも後數日上級學校入學の試練も終り悲喜交々の思ひを胸に抱きて巣立する、四平街各校の卒業式は四平街普通學校第一回卒業式は二十三日午前十時同校講堂に於て、四平街公學校第十七回卒業式は二十四日午前十時講堂に於て四平街尋常高等小學校二十五日午前十時より同校講堂に於て第二十回卒業證書授與式を擧行

各初等學校卒業式

新京の各初等學校は來る廿三日から左の順に依つて本年度の卒業式を擧行する

日	校
廿三日	室町校
廿四日	西廣場校
廿六日	公學校
廿七日	普通學校

あすはお彼岸のお中日ですよ

善男善女のお寺詣で

ヒガンダンゴの御用意は

あすは彼岸のお中日だ新京の各寺々では善男善女のお寺詣で、供養に說教に忙しい、これればかりは內地さ變りない年中行事の一つ、佛前に供へられる彼岸團子や萩の餅は市中の菓子屋さんで夥しく用意して硝子箱の中に飾つてある、値段は白餡漬餡の團子五つ十錢、白餡、漬餡、黃粉、胡麻の萩の餅が五つ十錢、これは峰長春堂、國女庵、朝日堂、日新堂、江戶屋、甘泉堂その他の店何れも同じやうである岡め庵の糸切り團子は昔聞團子を偲ばれる

春季皇靈祭

新京神社で執行

二十一日新京神社で執り行はれる春季皇靈祭の式次は左の通りである

一、午前十時一同參列—祓式—開扉—獻饌—祝詞奏上—玉串奉奠—撤饌—閉扉

右終つて宮中皇靈殿遙拜に移る、一同遙拜所に參列御殿遙拜の詞を奏上玉串奠し退出社務所で返會

金光教々會の靈祭

市內曙町—香々金光教新京敎會では廿一日午後二時から春季靈祭を執行し終つて說敎があるから一般の參詣を待つさ

各縣よりの

渡滿自衞移民團

五百名は八月頃出發

（東京廿日發國通）第二回滿洲國自衞移民に要する經費は議會の協贊を經たので人員並に移民地等については陸軍側さ關東軍さの間に目下打合せ中であるか陸軍で第二回自衞移民は中國並に九州地方の在鄉軍人より選定する意向であつたがその後種々の事情から第二回自衞移民は大體第一回同樣靑森、秋田岩手、山形、宮城、福島、新潟、石川、茨城、栃木群馬、長野、山梨等の各縣在鄉軍人中より約五百名を選定するに決したが右移民團は最初五月初旬頃出發の豫定であつたが第一回移民の成績に徵して尠くさも一ケ月間の練習を必要さされるので內地出發は來る八月頃に延期する事さなつた

滿洲人の好む色と文字（六）

七、滿漢民族の商店屋號に用ひらる文字

（九十六字）李文權氏調査

三　三陽　三泰　三益等
大　大有　大亨　大來等
久　久昌等
天　天順等
公　公義　公興　又は〇〇公記等（二人以上合資の事業）即ち公司の義
元　元昌　元亨　元泰等
中　中孚等
文　文美　文明
仁　仁義
玉　玉成　又は〇〇玉
永　永成　永興　又は〇〇永

正　正興
同　同仁　同和（二人以上合資の事業）又は同記
生　和生　利生
吉　吉順　吉昌
共　共和　共利　民國以來之を用ゆ
西　東南西北共　支店の名に加へ用ゆ
合　合興　〇〇合　合記
成　成昌　成發　〇〇成（二人以上の來資）〇成　成記
安　安順　〇〇安
利　利源　利成　〇〇利
宏　宏順　宏源
亨　〇亨
和　和成　和順
東　東昇　〇〇東
金　金成
協　協興（二人以上の合資）
昌　昌明　昌順　〇〇昌
忠（大連のみ之を用ゆ他地方甚だ少し）

長　長興　長順
怡　怡和　怡隆（二人以上の合資）
昇　昇源
阜　阜豐
來　大來
春　春和　〇春
洪　洪順　洪[illegible]
茂　〇茂
美　美利
厚　厚生　〇厚　厚記
恒　恒昌　恒順　〇恒
香　〇〇香　則南北皆有
政　政字爲政記公司及其關係者用之他家所無
泉　此の字只然二字に使ふ
金　金和　〇金
泰　泰昌　泰順
振　振興
隆　隆源
悅　悅來　悅通
致　致祥　致中和
瀛　瀛順　瀛興
晉　晉豐
啓　啓新　啓明

萊　萊順（山東人偶々此れを用ゆ）
乾　乾生
祥　祥和　祥泰　〇〇祥
達　達成　達興
通　通聚　通源　〇通
俊　俊康
莊　莊順（但し姓に非ず）
順　順興　聚和　〇〇順
陽　陽春
博　博文　博雄
雲　雲步
富　富順　富興
萃　萃豐
華　華豐
裕　裕興　裕和　〇裕
發　〇發
湧　〇湧（但し南方になし）
登　登瀛
源　源昌　源盛
瑞　興瑞　瑞祥
義　義興　義祥
達　達昌
新　新和　新利　〇新
新記
翠　翠兵

會　會仙　會文
聚　群興　〇聚
福　福源　福盛
鼎　鼎新　鼎豐　鼎康
德　德興　德成　德昌
廣　廣利　廣源（廣東人之を多く用ゆ）
慶　慶豐　慶成
春（張作霖の關係せる商事のみ之を使ふ）
潤　潤德　潤古　〇潤
裕　裕永　裕泰
震　震元　震興
興　興順　興隆
錦　錦成　錦興
鴻　鴻順　鴻昌
謙　謙和　謙順
豐　豐泰　豐盛　〇豐
雙　雙興　雙合（合資の場合）
寶　寶元　寶華（〇〇〇他し靴世のみ然も上海の置い）
盛　盛興　〇盛

青訓座談と映畫の夕

三月二十二日午後四時半より西廣場小學校應接室にて靑訓座談會が開催される、同座談會は新京地方事務所主催滿鐵學務課後援のもので軍司令部よりは世良大佐、石川少佐、學務よりは靑訓係員が列席し靑訓生徒の入所勸誘出席率の向上、一般の靑訓の主旨の理解等につき懇談を交さんさするもので成可く多數地方人士の來會を希望してゐる更に座談會後午後七時より同校講堂に於て映畫の夕を催し

石本氏について

村民の語る詳報

（錦州十九日發國通）石本權四郎氏慘殺に關し、二族營子部落民の語る所によれば、石本氏は昨年十二月廿八日李海峰匪の手により虻牛營子に運ばれ、賊は直ちに殺害せんさしたが、村民に發見され、發覺するを恐れて部落を包圍の上、大凌河畔に於て慘殺埋沒したものであるさ

自動車强盜

橫濱に二組の

（橫濱發）橫濱市神奈川區松本町四二自動車運轉手松原三郎（三五）が三人連れの客を乘せて十八日午前一時三十分頃橫濱鐵子を進行中乘客の一人が突然松原の頸を締め短刀を突付けて脅迫し十圓入の蟇口を强奪して同人を自動車から突落し自動車を運轉して何れかに逃走した、これさ前後して同日午前三時二十分頃中區伊勢町一ノ一七鈴木方運轉手廣山一貞（二五）も三人の客に鐵倉在假治ケ谷七曲り縣道進行中細紐にて首を締められ七圓を强奪された旨戶塚署に屆出たので警察當局は右は同一犯人さ見込み極力搜査につさめてゐる

吉凶禍福

△新京吉野町一丁目堂脇俊盛氏次男俊卿、十一日午前三時出生

△新京羽衣町一町目二二西村忠代、十八日午後四時五十五分死去

幕末異聞

愛慾火箭

作　瀧川駿
畫　村瀨洗舟
（上映上演禁）

（十）

仇討願ひ（六）

孫左衛門は、これだけ言ふと、思はず刑部から眼を外した。といふのは、孫左衛門の顔に目を向に、つき纏ふ様な三味線の音が、又もや、刑部の邸の塀外から流れて來たのであつた。

それは、聽穴の奥へ吸ひ込まれるやうな寂しい調である。

「して望月殿には、お千と市太夫とを、倅孫太郎の仇討に出發されるゝに就いては何か深い御理由が御座つてか？」

刑部は、古疵に觸れられたやうな苦痛を憶えた。

「いや別に、——その内にお解りになる時節も御座らうよ」

孫左衛門の問ひに對しては、何時も語尾を濁して、これ以上答へやうとしなかつた。また左衛門にして見ても、次男の六は十三、三男の忠太夫は十一歳、仇討に出すことは思ひも寄らないのでこれ以上深入して訊かうともしなかつた。

「明日、何刻出立をなさるおつもりで御座る」

「市太夫殿は、ともあれ、お千殿は婦女の事で御座れば、明日午の刻に城下を出發して、明晩は米子の宿に一泊させたいと、民見殿の意向でござれば」

「なる程、足馴らしに半日旅とは、結構な事でござらう」

「して目指される土地は？」

「江戸表に出たいと、市太夫殿の仰せでござる」

孫左衛門は、一段と聲を落して、

「時に、刑部殿、今宵拙者方へ妙な贈り物がござつたので、それを御披見申したいと存じて所持致して參つた。後程、とつくり御檢分下さい」

この一言に刑部は、ぎくつと、胸を衝かれたやうに驚いた。

「ではこれで失禮仕る」

早々と、一包みの荷物を置いて、孫左衛門は逃げるやうにして、刑部の邸を出て行つてしまつた。

刑部が今、白い風呂敷包みの紐に手をかけやうとした時に、間の襖がすうつと開いた。

「誰ぢや？」

刑部は思はず、包みを背後に隠して聲をかけた。

「私でございます」

それは次男の圭介であつた。

「何用があつて參つたのぢや」

刑部の聲は鋭く、圭介に嚙み付いた。

「實は内々で父上に相談がありまして！」

「何事だ？」

「申し上げても差支へございませぬか」

「場合に依つては、——なんと申すのぢや」

いら〳〵した刑部は、これだけ言つて圭介を睨みつけた。

「父上の命が頂戴致したい！」

「何を申すのだ！」

「天に代つて成敗致すのです」

この聲は、深海の水の様に、靜かであつた。

「血迷つたか？　父に向つて刃を向けるとは！」

刑部の聲は、うはづつてゐた。

圭介は大刀を抜き放つた儘、手を下さうともせず、寂然を湛へてゆく、三味線の音に聞き惚れてゐた。

「父上、又の機會まで御命はお預け申します。したが時代の流れに、もう一度目を注いで頂きたい」

圭介は、論語を說む手習ひ兒のやうに一氣にこれだけ言つてしまふと刀を鞘に納めた。

鍔の鳴る音がしたかと思ふと、双手を懷中に入れたまゝ夢遊病者のやうに、三味線の音に惹かれて表へ出て行つた。

三月十二日（舊二月十六日）　丙戌　危　室宿

- 一白の人　盗難に遇ひ易し身をやつして盗り勝ちの日　巳と辛と亥が吉
- 二黒の人　新規の事業は手控へ成るべく舊業を守るべし　乙と丙と丁が吉
- 三碧の人　運を選び徳を守りて内外に和平を求むべき日　庚と亥と壬が吉
- 四緑の人　何事も時世時節と隠忍して後日を待べき日　乙と庚と亥が吉
- 五黄の人　思はず知らず岐路に走り入り易き注意の日　甲と丙と丑が吉
- 六白の人　人の氣を外さぬ様にすれば最上の助けあり　丙と丁と未が吉
- 七赤の人　自然に幸福を受る吉日なり企業の計畫尤吉　丁と未と寅が吉
- 八白の人　投機心を出す時は失敗を招く常業を守べし　丙と丁と丑が吉
- 九紫の人　利得の盛なる日　但し目下に就き散財有べし　甲と乙と亥が吉

新京日日新聞

定價 一部 金三錢 一個月 金八十錢 郵稅 一個月 金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇番・二三三五番
發行人 河野 編輯人 十松 印刷人 谷

國都建設いよく第一歩へ

一躍凡そ三倍に 大新京の地域決定

南嶺、寛城子その他を編入

特別市制實施近し

新京特別市制實施に關する官制は二十日の國務院會議に上程される豫定で引續き參議府の諮詢を經て

＝近日＝いよく公布即日實施されることになつた、同市制實施に伴ひ從來の舊長春は南嶺、寛城子その他の周圍各部落を編入して一躍こゝに大新京の限界は決定され、舊市内に較べて凡そ三倍 地域に擴大されるわけで、なほこれに伴ひ現在特別市とは唯だ名ばかりの市の職制上にも相當影響あることゝなり現在の交涉科は廢止されて庶務科に變更新たに水道、會計の兩科が增設されることゝなつてゐるが差し當り人事の異動はない模樣で、かくて大新京の

＝地域＝決定さると一方國都建設は第一期に入るべく、まづ中央通延長幹線路を中心として、二等路及び三等路方面の家屋立退きが行はれ同幹線路を中心に北側は四月中に南側は五月中に大体四、五百戸が立退かることゝなく、こゝに正式に國都建設の第一歩に踏出すことゝなるわけである

蘇聯大使信任狀捧呈

〔東京二十日發國通〕新駐日蘇聯大使ユレネフ氏は二十日午前九時三十分宮中に參内、同十時鳳凰の間に進み、内田外相侍立の上、天皇陛下に謁見、信任狀並に前任大使の解任狀を捧呈した、陛下には同大使に優渥なる勅語を賜ひ、次いで重臣にも順次謁見仰付けられた、斯くて御前を退下後ユ大使は更に桐の間に進み、夫人同伴皇后陛下に謁見賜はつた

建築材料も頓みに値上り
新京土建界益々振ふ

解氷期を待つて新京の土建界は非常な活氣を呈しいづれも火の出る樣な競爭振を發揮することは明らかであるが本年は銀相場の高調で建築材料は高値を見、各業者とも頭を惱ましてゐるが日本家屋の建築費はと、聞くと昨年三、四頃の二倍とある昨年の一坪平家建は十圓であつたが本年は、百五十圓以上と云はれてゐる、今、新京附近から求める材料の煉瓦、砂、バラス木材の値段を昨年に比すると左の如くである

		昨年	現在
黑煉瓦	100個	[illegible]	一、二〇
赤煉瓦		[illegible]	一、〇〇
砂	一坪	[illegible]	一〇、〇〇
バラス（二寸以上）		[illegible]	[illegible]
バラス（二寸以下）		[illegible]	[illegible]
木材	一立尺	[illegible]	一、四〇

その内黑煉瓦の如きは五、六月の解期を控へれば製造率が非常に減じるため現在の倍にもなることを豫想されてゐる

滿洲國航空郵便開始
二十四日から

滿洲國航空郵便開始は先頃二十日頃からと傳へられてゐたが事實は二十四日から開始に決定したと

日滿空陸聯絡
八月一日より實施
にった一日で母國の便り

日滿兩國間の交通運輸に新空代を劃する日滿兩國の定期時陸交通聯絡は愈々來る八月一日を期して實施されることになつた、これによると東京、新京僅か二十時間、大阪より福岡經由の夜間飛行に依り、航空郵便の如き、僅か一日間

飛行便とは名のみ、三日も四日もかかるとの奧樣方の無理からぬ御批判も懷かしい故國の接近にいつしか解けて行くことであらう、それにしても最低料金三十三錢は、といふのは一般の方々は勿論郵便局の技術家方の御意見でもある

選擧法改正案 政府も斷念す
その他は大体通過

〔東京廿日發國通〕議會は二十五日を以て閉會するが、下院を通過し、目下貴院で審議中の政府案は二十件を越え、その中には國道敷設法案、米穀統制案、恩給法改正案など重要法案があり、政府では會期中に可決されるとも期待して最後の努力を貴族院に集中して居るが恩給法改正案は軍人出の貴院議員中には下士以下の特殊性を無視したものとして反對論があるが結局通過を豫想され、衆議院に停滯中なるは選擧改正案、東京都制案、醫師法改正案で、東京都制案は請委員側と內務省との妥協は出來たが各黨の態度未決定で樂觀を許されず、選擧法は政府でも匙を投げてゐる、醫師法改正案は醫師でないものでも病院並に診療所を經營し得るといふ點に關し醫者出身が反對して居り、修正は免れぬ模樣で、其の結果兩院協議會を開くことゝなるか撤回するかの運命となるべく、結局政府提出案五十二件中選擧法改正案其他を除き重要法案は殆んど通過し愈々終幕となる見込みである

今議會の成績
近く閉幕を控へて

〔東京二十日發國通〕議會は愈々二十五日で、閉幕となるので會期は餘すところ僅かとなつたが、衆議院を通過して目下貴族院で審議中に屬する政府提出法案は二十件を越え又議員提出法案として衆議院を過、貴族院に送附されたものも相當件數に達してゐる而して政府提出法案中には鐵道敷設法中改正法律案、米穀統制法案、恩給法中改正法律案、通信事業特別會計法案、日本製鐵株式會社法案（製鐵合同案）、辯護士法中改正法律案、[illegible]滿洲[illegible]株式引受に關する法律案（[illegible]資案）兒童虐待防止法案、負債整理組合法案等の重要案件があるが、大體に於て會期內に可決されるものと政府は樂觀してゐる

露國、農具を滿洲國に輸出
外國品の驅逐策か

〔ハルビン二十日發國通〕勞農露國は國民經濟作興の五ヶ年計劃遂行の結果、農具の海外輸出を計劃しつゝあつたが在ハルビン露國通商貿易部は東支鐵道との間に特定運賃協定を結び、露國產の農具を滿洲國に輸入すべく鋭意研究中である、因に右農具は價格品質に於て外國品との競爭に足るものであると

神戸大阪向の特定貨物新運賃率は左の如くである

豆粕（十七錢）大豆、小豆、雜穀（二十錢）麥、ソバ、胡麻、小麻子、大麻子、綿實、骨粉（二十三錢）

滿銀栗田支配人來社
着任の挨拶

滿銀大連支店から今村前支配人の後をおひ新京支店兼范家屯支店支配人として去る十五日單身着任した栗田二郎氏は二十日市內各方面を歷訪して挨拶した、なほ同氏は一旦赴連のうへ家族を同伴、本月末來京の豫定

羅文幹の强がり
平津方面要人連の冷笑の的となる

〔南京廿日發國通〕十八日北平から歸還した羅文幹外交部長は傳へられる日支直接交涉說を否定して次の如き强硬論を吐いてゐる

最近日支直接交涉の風說があるが中國は如何なる環境に立至つても斷じて直接交涉を爲す能はず、現在の事態に於て直接交涉を開始するは城下の誓を爲すに齊しい、問題は日本に制裁を加へず、中國の軍事行動も進捗せず、局面打開は相當に困難であるが中國生存の道は唯極力奮闘の一途あるのみ

滿洲熱河問題の理非曲直は聯盟の決議、世界の輿論の前に明瞭である、北平にある各國大公使亦我自衞行動の正當性を諒解す、我々は現在かのコロンビヤと同一の立場にあるのだと

これに對し、能く南京政府の內情を知れる北平、天津方面の要人連は羅文幹の言辭は徒らなる强がりで、信ずるに足らずとなし中央黨部の狡猾さを冷笑し、吾人は宜しく獨自の方針で邁進する外なしといふに一致してゐる

駐日公使に黄郛を任命か

〔天津發〕政界某要人の談に依れば蔣介石は北方における外交事務を擔當せしむべく北平市長に內定せ［る］黄◯が就任を肯ぜぬため元上海市長張群を北平市長に、黄郛を駐日公使に任命することに決した樣である

八田副總裁一行來京
四五日間滯在の豫定

八田滿鐵副總裁、宇佐美鐵路總局長、伊澤同次長、佐藤鐵道建設局長一行は新京駐在河本理事とゝもに二十二日午前八時來京するが右は滿洲國の鐵道委任經營による鐵路總局が三月一日奉天に設置されこれが各方面への挨拶のためで大和ホテルその他に分宿して四、五日間滯在官民有力者を招待して披露宴を張る

貨物運賃率改正

昭和五年三月に定められた、滿鐵大阪商船、貨物連絡運送運賃率が改正され三月二十日受託のものから適用されることゝなつたが、大連門司下關

一人一言
近代人
永井柳太郎

近代人と言はれる人々の中には全く自己の判斷力も感覺もないかと思はれる人が少くない。模倣に活き、口眞似に活き、自己の生命を有さぬ空虛な生活をしてゐるのは何うしたものか。モダーンとは流行を追ふ事と心得てゐたら大間違ひである。人間は考ふべき頭腦を與へられてゐるのだから、自己の判斷に依つて自己を活かさねばならぬ。さうしてこそ初めて近代人の資格が備はると謂ふべきだ。

人事往來

▲板垣少將（奉特務機關長）

▲熙財政部總長 二十日正午吉林より來京の豫定

▲岡村參謀副官 十九日午後四時三十分內地へ

▲立川奉天警察署長 柳河、金川、輝南、海龍の四縣の駐在警察官の慰問巡視を遂げ二十日、吉林から來京、同夜歸奉した

▲清野長太郎氏（間島總領事）は三月十八日附を以つて赤峰領事館在勤、承德出張を命ぜられた

氣温と天氣

けふの天氣西の風晴一時曇 二十日の氣温最高一度六、最低零下四度八

英、伊、獨、佛の四國商議協定
英首相ローマ入り

〔ローマ十九日發國通〕ローマに乘込んだマクドナルド英首相は十八日到着早々前後數時間に亘りムッソリーニ首相と重要協議を遂げたが、十九日午後六時半ローマ法王ピオ十一世に謁見するまで引續きムッソリーニ首相と第二次會見を遂げる事となつた、而して兩巨頭が抱く歐洲局面打開方策は先づ英伊兩國間に協約を締結し、これに獨佛を誘導し茲に四ケ國の商議協定の目的を達せんとするにあり、ムッソリーニ首相は四ケ國商議協定締結の前提として年來の持論たるヴェルサイユ條約の改訂 [illegible] れ [illegible] るものと信ぜらる [illegible] ライン河を挾む獨、佛の現狀を持續する限り歐洲の禍勢を少しも好轉せしむるに至らず、獨、佛を繞る歐洲其の他諸小國も依然として險惡な關係を續けるほかはないと言ふにある、イタリー政府側に於ては四ケ國商議協定に關し特に大綱を協定するに止まり、細目に亘るべからざる事を主張して居る、然して軍備縮少問題は四ケ國商議協定に關し大體意見の一致を見た上ではじめて可能性あるものと見られてゐる

市營住宅その他
上水道新設で
資金五十萬圓借入れ
いよく近く成立

新京特別市政公署では市營住宅、水道、學校、屠畜場の建設資金として滿鐵方面から五十萬圓の借款をなすべく橋口總務處長がさきごろ赴連中であつたが、滿鐵との接衝面白からず、更に東京方面に運動の結果、大体話が纏まり近く成立を見る模樣である、右につき此のほど歸還した橋口處長は語る

話は大体うまく運んでゐます、滿鐵との話もあつたがそれは止めて滿鐵外から低利のものを借り得る心算で、これは市營住宅、水道その他に當てることになつてゐる

英首相歸還の途に

〔ローマ十九日發國通〕ローマ到着以來二回に亘りムッソリーニ首相と歐洲政局の局面打開方策に關する重要協議を遂げたマクドナルド首相、サイモン外相は二十日正午ローマ發歸還の途につく事になつたが途中更にパリに立寄つて佛政府當局と會見、佛國首腦部と重要會談を遂げることとなつた

國際聯盟會議から
石原大佐歸る
東京に歸る迄は何も話せぬとて
口を緘して語らず

ゼネバに於ける國際聯盟會議に出席、最後迄奮闘した前關東軍參謀石原莞治大佐は二十日午後三時三十分着列車で陸路來京、驛頭には關東軍後宮大佐以下各參謀、滿洲國軍政部其他官民各團体學生等多數の出迎へあり、石原大佐は村夫子然たる顔をかはうそのオーバの中から覗かせながら、東京に歸る迄は何にも語る事は出來ないと語り、軍差廻しの自動車で宿舍滿洲屋旅館に向つた

わが全權の堂々たる態度
誠に愉快であつた
ハルピンで語る

〔ハルビン二十日發國通〕國際聯盟會議に陸軍側隨員として列席の前關東軍參謀石原大佐は新聞記者を同伴二十日午前九時滿洲里よりの國際列車に着哈したが、一行は頗る元氣旺盛で、石原大佐は語る

今更何も言ふこともない、自分等は萬全を盡してやれるだけの事をやつた、今後の事は聯盟に於て適當に處置するだらうと思ふ會期中、最も痛快に堪へなかつたのは我松岡全權が最後の日席を蹴つて退場せんとするや各國記者團が一齊に總立になり、場內に於て、議長に峻烈なる質問の矢を浴せかけ大混亂となり、議長は色を失つたが、我全權は實に堂々たる態度を持して退場した事で、誠に快心に堪えなかつた

因に一行は二十日午前九時發赴新したが、二十日午後三時三十分新京着の豫定

關東軍關係異動
坂田、末藤兩參謀ともに昇進
相當廣範圍に亘る

關東軍關係の十八日附發令昇進異動は左の如くであるが、關東軍參謀部第四課長坂田中佐は大佐に、同第二課參謀末藤少佐は中佐に近く發令ある筈

任陸軍軍醫監 伊藤賢三
關東軍司令部付陸軍歩兵少佐 小林光俊
近衛歩兵第三聯隊付
參謀本部附勤務を命ず
歩兵第四十二聯隊附
陸軍歩兵少佐 山本良三
關東軍司令部附
陸軍技術本部付兼陸軍省軍務局課員、陸軍大學校兵學教官
陸軍歩兵中佐 鈴木宗作
關東軍司令部付
參謀本部部員、陸軍歩兵中佐

關東軍司令部附兼關東軍交通監督部部員 安藤二十三
近衛歩兵第二聯隊附陸軍歩兵少佐 秋草俊
關東軍司令部附
關東軍司令部附、陸軍少佐 鳥海周治
大連第二中學校服務を免じ
山形聯隊區司令部々員

關東軍司令部付陸軍歩兵少佐 下枝瀾男
歩兵第十一聯隊隊附
關東軍司令部附陸軍歩兵少佐 宮崎繁三郎
歩兵第卅一聯隊大隊長
關東軍副官、陸軍歩兵大尉 有富治郎
任陸軍歩兵少佐
歩兵第三聯隊附
參謀本部附勤務を命ず
第二師團司令部附歩兵大佐 牧野正三郎
豐橋教導學校學生隊長陸軍歩兵中佐 石黑貞藏
關東軍司令部附（各通）
關東軍幕僚附、陸軍歩兵大尉

關東軍副官 名越透
關東軍副官
歩兵第十八聯隊附陸軍歩兵大尉 厚弘志
關東軍參謀部附
第九師團參謀、陸軍歩兵大尉 小川泰三郎
關東軍司令部附
關東軍參謀、陸軍航空兵少佐 塚田理喜智
飛行第七聯隊附
參謀本部々員、陸軍航空兵少佐 平田勝治
關東軍參謀
關東軍司令部附、陸軍砲兵大尉 佐藤傑
第八師團參謀

關東軍參謀部附陸軍工兵大尉 小西貞治
陸軍通信學校主事
電信第二聯隊附陸軍工兵大尉 松友濟次郎
關東軍參謀部附
關東軍司令部附陸軍一等獸醫 田村倉造
輜重兵第四大隊附
輜重兵第四大隊附陸軍一等獸醫 濱田六太郎
關東軍司令部附
歩兵第廿五聯隊附陸軍歩兵大尉 坂口芳之助
關東軍司令部附
大連第二中學校服務を命ず

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 [illegible]
同 遠限 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
孟買銀塊 [illegible]
米英爲替 [illegible]
日爲替 [illegible]
米支爲替 [illegible]
スチール株 [illegible]
アナゴンダ株 [illegible]

▲綿花
●米綿 現物 三月限 五月限 七月限 十月限 十二月限 一月限 [illegible]
●印綿 ブローチ ベンゴール オムーラ [illegible]

▲上海票 本寄 歩値 [illegible]

▲上海倫敦向 賣値 買値 [illegible]

▲上海紐育向 賣値 買値 [illegible]

▲上海日本向 第一回 第二回 第三回 [illegible]

▲大連鈔票 現物 近付 寄付 歩値 [illegible]

▲大連上海向 引値 高値 安値 出來高 [illegible]

▲大連煙台向 [illegible]

▲阪神日米爲替 第一回 第二回 第三回 [illegible]

▲阪神日英爲替 賣値 買値 [illegible]

各地市場

▲大坂株式 大株 新東 大阪紡 鐘紡新 [illegible]

▲同 短期 東新 鐘紡新 [illegible]

▲大連株式 五品新 豆錢鈔 [illegible]

▲大阪三品 當限 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 先限 [illegible]

▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]

▲大阪期米 當限 中限 先限 [illegible]

▲仁川期米 當限 中限 先限 [illegible]

▲横濱生糸 現物 當限 先限 [illegible]

▲神戸豆粕 三月限 四月限 五月限 [illegible]

▲大連特産 ●大豆 袋込 三月限 四月限 五月限 [illegible]

●豆粕 現物 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

●豆油 現物 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 [illegible]

●高粱 [illegible]

▲哈爾賓特產 ●大豆 現物 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 [illegible]

●小麥 四月限 五月限 六月限 [illegible]

▲カルカツタ麻袋 [illegible]

▲大連麻袋 現物 出來高 [illegible]

新京市況

大豆 現物 出來高 [illegible]
高粱 出來高 [illegible]
小豆 出來高 [illegible]
▲錢鈔（現物） 鈔票對金票 大洋對金票 國幣對金票 大洋對鈔票 [illegible]

討熱戰に輝く偉勳

加藤○隊の奮戰 つひに危機を救ふ

涙と共に綴られた 榎澤中尉の手記

【喜峰口十九日發國通】喇嘛洞及び蚌牛營子附近の戰鬪に於て、五千餘の兵力を有する敵第百六師の重圍に陷り、三日間に亙つて激戰を續け、通信機關杜絶の爲消息不明となり憂慮されてゐた服部部隊の鯰江○隊は三月六日に至り見事に敵を擊破し、再起し能はざる程の大損害を與へて遂に南方に潰走せしめたが同隊を間一髮の危機より救ひ、意外の大勝利を得しめた裏面に、一死以て○隊の人柱となり、蚌牛營子の露と消えた勇敢無比の一○隊がある

指揮者は加藤少尉、未だ二十四歲の青年士官で、十倍に餘る敵と對陣して晝夜善戰し、自から身に五發の敵彈と三個所の刀創を受け、見るも壯烈の戰死を遂げたが、少尉の偉勳は滿洲事變の掉尾を飾る花とされ、犧牲となつた兵士と共に、全軍將兵賞讃のまとなつてゐる

『鯰江』部隊の苦戰は通信連絡が無かつた爲め知られてゐなかつたが、十七日同隊が喜峰口に到着するに及び判明したもので、特に加藤○隊が名譽の戰死を遂げた壯烈極り無き戰鬪は、故少尉の親友榎澤中尉が涙と共に綴つて、本社特派員に手交され、こゝに公にされる運びとなつた

彼岸 武田小熊星

洋車の幌おろし行く彼岸
入彼岸會や嫗は孫の手をひきて
彼岸會や野末にわたる寺の鐘
棟に飛ぶ鳩もつやめく彼岸かな
椽邊に彼岸團子の二つ三つ

鬼神を泣かす 少尉の奮戰振り

三月四日日沒と共に寒氣加はり零下二十八度餘渡河の際ぬれた軍隊靴が凍結してカチカチだ、敵の山砲迫擊砲彈が頭上に物凄い音をたてゝ破裂する、九日の月が其の土煙をはつきりと見せる、蚌牛營子北方の○隊本部に無氣味な沈默が續く

「加藤少尉が參りました」元氣のいゝ聲だ、キリツとした態度だ「おゝ御苦勞、加藤少尉今度は命を貰つたぞ」「ハツ」「君も知るとほり敵は兵力增加中だ」

鯰江部隊長はクツキリと見へる『部落』東方八百の山を指して語をつぎ「左○隊はあの標高三四六の高地を占領したが、機關銃にやられた上凍傷で進出困難の樣だ貴官に貴官の小隊と機關銃一分隊を以て細木小隊と交替、あの二つの高地を奪取し○隊攻擊の據點として死守すべし」○隊長は最後の一兵となるとも貴官があの高地を奪取するであらう事を信ずる、賴むぞ」「ハツー復唱致します、加藤少尉はあの高地を奪取し○隊攻擊の據點として占領死守致します」決死の色で少尉は『月の』光の中に浮ぶ山をキツとにらんだ

「敵の迫擊砲と機關銃が山の上にあるらしいが要心して呉れよ」「きつとやつつけます、御安心下さい」事もなげに少尉は云ひ放つたこの時敵の砲彈は蚌牛營子河原に猛烈に落下し始めた、並木の陰で彈丸の補給を受けた全員二十三名の○隊を集めた小尉は「○隊はこれから進んで是非ともあの高地を奪取するのだ」と『部下』を勵まし「○隊長殿行きます」「賴んだ」「加藤しつかりやれ」少尉は激勵の聲をきいてニツコリ微笑んだ、二十四歲の少尉が死を決した笑顏

午後は八時三十分、加藤○隊は隱れかゝつた月の光に長い影をひいて勇ましくも出發したたゞ之を見送る隊長以下將兵一同は皆一樣に○隊の武運長久を祈つた、敵の銃砲聲は間斷なく續く、午後十一時過ぎ猛烈な『銃聲』が山上にとゞろき、砲彈も山上に炸裂する、アツー眼燈が圓形に振られた「有難い一つ目の高地は奪取した」ぞ成功だ成功だ=「よくやつた」○隊長も一言うめくやうに云つた、此處に於て○隊は豫定の如く兵力を點呼して拂曉攻擊を爲すに決し、蚌牛營子を含む山上に三ケ○隊、殘る四ケ隊及び○兵砲、○砲、○兵を以て同部落西方二キロの高地に展開命令が下つた、時に十二時、加藤○隊正面の山上は死の如き靜寂だ、月落ちた暗黑の嶺に、時折り敵の擊つ銃砲が聞えるばかり午前二時正に『出發』せんとするや、加藤○隊○前面に突如猛烈な銃砲聲が起つた、續いて四邊の靜寂は破れて騷然とし一種凄慘な氣が漲つた「前進」の命令に○隊は遙か南方喇嘛洞高地方面に機關銃聲の起るをきゝ、加藤○隊の奮鬪に信賴して何の不安もなく豫定の高地に展開小賢しくも我右側背に進出せんとする敵約七百を發見、五日午前五時頃加藤○隊を據點として○隊は其の側面に突入これを攪亂せしめ、敵の包圍を挫折させたのみでなく、一擧に第一線陣地を奪取し、第二陣地に殺倒、正面二キロに亘る『敵陣』地を驚嘆せしめた、午後一時傳令來り「加藤○隊は二時約二百の敵の逆襲を擊退し一擧に所命の高地を占領せるも、七、八名の死傷者を出し、機關銃は敵の迫擊砲彈の爲粉碎され、同隊は午後五時負傷者の護送を兼ねて、原隊に復歸させました」と云ふ報告を齎らした、あゝ何と言ふ氣高い心情であらう、自身は一兵でも多きを欲する時にあり乍ら機關銃○隊の兵力不足を思ひ、健全者○名を○隊に復歸させた少尉の『崇高』な精神に誰か泣かぬものがあらうか、隊長も機關銃○隊長も彈丸雨飛の下で聲を擧げて泣いた(つゞく)

東寧の戰鬪 激烈をきわむ

敵匪の死傷は莫大

【ハルビン廿日發國通】去る十日より四日間に亙る東寧の戰鬪は激烈を極め、市中に散亂せる敵匪の死体は二百廿を算し、負傷者に至つてはおびたゞしいものがある、一匪賊團の如きは百廿名の內七十名を失つた程で、その激烈さは推測に余るものがあつた首魁三侠は劉萬魁の命を受けたもので、劉は同團の積極的な援助を受けて居た事が愈々確實となつた

喜峰口一帶 颱風一過の觀

哀れ敵陣地の殘骸

【喜峰口十九日發國通】十九日の喜峰口一帶は颱風一過の觀あり至極平穩である、喜峰口部落南方孤兒嶺、胡家店、潘家峪乃潘家口附近の昨日まで敵陣地たりし一帶は今は寂として聲なく破壞された砲壘や銃丸のみが哀れな殘骸を留めてゐる

唐聚五匪現る

守備隊直ちに擊退

【新京廿日發國通】南滿十五列車從業員の話によれば、昨日午後十時頃中固線を橫斷せんとする匪賊頭目唐聚五の率ゐる約五六百を發見、我守備隊は警察隊と協力之と交戰擊退した、賊は東方三支里范家塞方面へ潰走した

北興鎮を占據

兵匪千七百を擊破す

【ハルビン三十日發國通】北境警備隊は江省軍の到着を俟つて北興鎮富錦の對岸に蟠居する劉寶の殘黨約一千七百名の討伐のため富錦に集結し行動開始し十七日午後より北興鎮を占據して堅固なる陣地に據れる六七百の匪賊團を破擊した

稅關吏員の取扱に 怨嗟の聲起る

不合理な遣り口も甚しいと

【奉天國通】最近內地から進出して來た奉天の某洋反物類卸商の談に依れば、昨今の大連海關稅關吏の非常識な遣り口には全く『呆然』たらざるを得ない、一例を擧ぐれば前記某店が內地本店から取寄せた洋反物の長尺物三百幾十碼の品物が大連海關に於て檢査の場合僅か一碼長かつたと言ふ通知に接したので同店では早速其の一碼を切捨てゝ貰ふやう依賴した處稅關吏は法規を盾に頑として應ぜず遂に該品物は內地に送還せられて折角の商談を不調に歸せしむると共に莫大な失費を支拂はされて大損害を蒙つたと言ふのである、而も三百幾十碼の物を計るには如何に正確な物尺を用ふるも人手で計る以上半碼や一碼の長短は免かれないのが當然であつて、又物尺にしても碼尺の如き長尺は幾分の曲りを生ずるのが通例であり、生地にしても亦扱ひ方如何に依つて伸縮することあるは專門家ならずとも容易に推察し得るのである、斯る事情には一顧の反省をも與れずたゞく法規を楯に商人等の『損害』を顧みず不合理も甚しき處置に出づる化石的な稅關吏等の頭惱には呆れざるを得ないが、斯うした非常識な橫暴振りに泣かされる商人等の迷惑は尠少でない小包課稅標準の批難と謂ひ昨今稅關吏の取扱ひに關し怨嗟の聲が高い

血書の國旗に お金も添へて

感心な商店員五名 連名で皇軍を慰問

愛國心に燃ゆる商店員五名が一尺二寸角の白綸綢に血で日の丸を描き右肩に「武運長久」左に「武藤閣下」と記し、別に紙には關東軍司令部殿とし「東洋平和明確在滿『將士』新健鬪、市內一商店員五名」としたゝめそれに獻金五圓に左の如き手紙を添へ去る三月十三日長崎憲兵分遣隊に屆けた、同分遣隊では右店の意にそうべく二十日新京憲兵隊に送附して來た、同隊では直ちに關東軍司令部に提出した

手紙內容(原文のまゝ)

乍卒爾粗葉輸をもつて御願ひ致します、國內は擧て國聯の脫退を叫びこれによる外交孤立、滿日の提携による非常時國難來の『折柄』我皇國の生命線保護のために滿蒙の地に生命を賭して御奮鬪下さる、陸海軍將兵各位の爲め誠に輕少な金額で汗顏の至りで御座いますけれども、御慰問金品の一片にでも御加へ下さいますれば望外の幸と存じます金額こそまことに貧者の燈にも劣ります一けれども帝國臣民として其精神においては長者の『萬燈』にも劣じて後れをとらざる事と確信いたします、不幸軍籍に身を置きませぬ私共の店員五名の心からなる獻金で御座いますれば何卒宜敷其筋の機關へ御傳達を懇願致します。先は右御願ひまで敬白

昭和八年三月 市內一商店員 五名

長崎憲兵分遣所

東京との第一便は 五時間余短縮

いよく四月一日から改正の 直通列車連絡系統

既報四月一日より實施される奉天、釜山間の直通旅客列車の連絡系統を示すと從來の第一便(假に關釜間連絡船番號をして連絡番號とす)に依る場合(東京下關間第一、第三列車『關釜』間第一便釜山奉天間第一列車、南滿本線第十六、第十七列車)および第二便(南滿本線第十三、第十四列車、奉天釜山間第二列車關釜間第二便下關東京間第二列車第四列車)に依る場合は何れも普通旅客列車一ケ列車繼承にして第七便(東京下關間第七列車關釜間第七便釜山奉天間急行第七列車は南滿本線急行第十一、第十二に第五列車は第十八列車、第十五列車におよび第八便(南滿本線急行第八第十二列車は奉天釜山間急行第八列車に第十六列車第十七列車は第六『列車』に關釜間第八便下關東京間第八列車)に依る場合は急行と普通旅客の二ケ列車を繼承してゐたが今回の改正で朝鮮線內に於けるスピードアツプに伴ひ各列車の配置を改めたる爲その連絡系統變更(列車番號も改稱)した、各便とも東京釜山間の連絡系統に現行と同一であるが釜山奉天間では第一便(急行第一列車は南滿本線第十三列車及十四列車に第三列車は第十六列車及第十七列車に)および第二便(南滿本線第十六及第十七列車は第二列車に『急行』第十三第十四列車は第四列車に)は急行と普通旅客の二ケ列車繼承となり、また第七便(釜山奉天間第五列車南滿本線急行第八第十二列車)および第八便(南滿本線)急行第十一第十二列車は奉ゞ釜山間第六列車に)は普通旅客列車一ケ列車の繼承となつた、東京大連間及東京新京間の所要時間は現行に比し第一便(第一便中の第三列車は旅行第一列車に同じ)は各々五時間余の短縮となつた、又現行第七及第八便は釜山奉天間及南滿『本線』を通じて急行列車であつたが本改正で釜山奉天間は普通旅客列車となつた、其の所要時間は現行と同一である右の如く釜山奉天間直通旅客列車の配置を變更の結果、安奉線內の普通旅客列車の時間が早朝又は夜間に偏する嫌があるので現行第五、第六列車は晝間には編成の旅客列車の往復を增加安東京城間に增設の混合列車に接續せしめ區間旅客の便益を圖ると共に觀察團体等の『輸送』に利用さるゝ事になり尚ほ安東と五龍背間は適宜時間に普通旅客列車を利用出來るので、同區間第三百六十六第三百六十七列車は廢する事となつた

強盜一名逮捕

既報、十九日午後八時十五分市內祝町五丁目十三番地モと商島掩ッヤ方へ押入つた強盜犯人三名中一名が二十日午後五時頃東三條通附近に潛伏中との報に接した新京署司法係では非常召集を行ひ包圍逮捕した

自働車に泥よけ

漸くつける事に決定 通行人は大助かり

新京の自働車は昨年迄は僅か數台にしかすぎなかつたが從つて自働車に依る交通事故は一件もみなかつたが滿洲事變後滿洲國首都決定以來全權府並關東軍の移駐に伴ひ自働車數も著しく激增したこれに伴つた交通事故も漸々續出し、又は雨季解氷期には自働車の疾走によつて四散する泥水の爲一般市民は非常なる迷惑を蒙り當局非難の聲さえたかなりつゝあつたので、新京署に於ては關東廳と打合せこれが對策に苦心してゐたがいよく右泥よけを各自働車每に設置する事に決定した、それが爲同署では首都警察とも打合せする事になつた

春の休み始まる

まづ商業から

勉學の一途を辿つて居る學生兒童に取つて何よりも樂しいオアシスである休暇がいよく焦眉の間に迫つて來た新京の各學校ではその休暇を目前にそがれく種々の準備を急いでゐるその休暇のトツプを切つたのは新京商業學校で昨二十日終業式を擧行二十一日から三十一日迄規定の如二十日間休業するので學生等は自由の天地へ開放された嬉さに喜々としてゐる

社會事業聯合會

まづ仕事始め

さきに成立した新京社會事業聯合會籌備委員會ではまづ社會事業方面へ進出の第一歩として滿洲國外交部を中心に目下なされつゝある東北體災義捐金募集を援助することゝなり二十日午後二時から蓝委員長以下各委員集合のうへ打合せした

地方委員會開く

滿鐵地方事務所では二十日午

岡村參謀副長

大連發上京

【大連二十日發國通】熱河掃匪戰も皇軍の敏速果敢なる活動に依り、一段落が付いたので其の報告を兼ね中央部と事務打合せる爲め關東軍岡村參謀副長は本日午前十時出帆のあめりか丸で林警務局長其他の見送りを受け上京した

金塊事件

目鼻つかず

【東京二十日發國通】天賞堂の金塊三萬圓盜難事件は手がかりなく、こともと搜査の中心を失つた、犯人はまだ東京に潛伏して居り、金塊も東京から持出された形跡ないが、犯人が上海や滿洲方面の密輸業者と聯絡ないかが憂慮され各開港に手配してゐる

落し物の主

京城の人か

二十日午前七時廿分頃、市內東三條通泉盛堂前に消防隊衛生人夫張忠山が小形トランク一個を拾ひ直に新京署に屆出たので同署では該トランクの在中品の檢査を行つた處、債券抵當金讓渡書用紙、商品目錄、手帖一冊及千五百圓の約束手形一枚と外に數十枚の名刺があつたがその名刺には京城府南大門通九十五番地瀨谷名會社京城支店代表員中屋敷雨惣造と記してあつた

後一時から所長室で地方委員會の例會を開き時事問題その他について協議した

滿洲國政府の 追加豫算可決

きのふ國務院議で

第十一次國務院會議は二十日午後二時國務院會議室に於て開催、鄭國務總理以下各總長出席左の議案を審議したが大体に於て原案通り可決されるものと見られてゐる

一、大同元年度歲入歲出追加豫算
歲入出 一六、九四八、九四五
(一)總務廳所管(經常部) 四六七、八〇〇
(二)總務廳所管(經外部) 三、三三二、一四七
(三)興安總署所管 六六、〇〇〇
(四)民政部所管 五、七〇三、〇〇〇
(五)軍政部所管 六、九〇二、〇〇〇
(六)財政部所管 三一七、九四八
一、大同元年度才出才入追加豫算(二月二十日) 二、二〇〇、〇〇〇
一、大同元年度才出才入追加豫算(三月二十日) 五、一〇〇、〇〇〇
一、大同元年度財政部所管專賣公署特別會計豫算 一九、四〇九、六三七
一、大同元年度總務廳所管關稅及鹽稅擔保外國債整理基金特別會計豫算 一三、四五〇、〇八〇
一、大同元年度總務廳所管首都建設局特別會計豫算 五、〇八〇、〇〇〇
一、大同元年度總務廳所管道路特別會計豫算 一、五〇〇、〇〇〇
一、大同元年度總務廳所管臨……品資金特別會計豫算 二三九、〇〇〇
一、大同元年度歲入歲出豫算中更定の件報告
一、大同二年三月十三日現在豫備金支出報告
一、暫行文官外國旅費規則改正の件
一、人事任命案

新京では死人も增加

以前の倍以上

朝に紅顏の身も夕は白骨となるべき人の運命で何人も一度は必ず厄介にならなければならぬ火葬場ではあるが滿鐵經營新京の火葬場も滿洲建國まで一ケ月平均七、八名にすぎなかつたところ人口增加に正比例して最近では一ケ月平均三十名以上に達し今年に入つてから一月が三十四名、二月が三十一名である

范家屯校卒業式

室町小學校范家屯分校場では二十日午前十時から卒業式を行、滿鐵地方事務所から荒木所長臨席し

訂誤

昨號掲載、南滿電氣ラヂオ、サービス店廣告中ビーターパン受信機四球式七十圓は七十五圓ジヤクリンペル七球式百五十圓は百五十五圓の誤植につき訂正

戰死者の遺族 傷痍軍人殊遇に就て

陸軍省人事局
海軍省人事局

戰死者遺族や傷痍軍人には恩給法に依つて夫々扶助料なり増加恩給又は傷病賜金を下賜せらるゝことになつてゐるが玆では特に遺族や傷痍軍人の受くる殊遇を掲げる

（イ）特別賜金（昭和六年十一月五日陸軍省告示第三七號同七年二月十日海軍省告示第二號）

遺族の請求を俟つて賜與せらるるのであつて其の請求手續は陸軍々人に就ては聯隊區司令部海軍々人に就ては海軍人事部又は死歿當時の所屬部隊から措示せられる、賜金額は軍人の階級に依つて陸軍の曹長、海軍の一等兵曹級には二千百圓、陸軍の上等兵海軍の二二等水兵級には千四百萬圓と云ふ樣に定められてある、然し特に定められた他の賜金を給せられた場合には重複しては賜與せられない

（ロ）軍人救護（大正六年七月十九日法律第一號軍事救護法同年十二月七日勅令第二八四號軍事救護法施行令）

戰（公）歿陸海軍下士官兵の遺族にして軍人死歿の爲め生活困難の事情にある場合には地方廳から一定の金錢又は物品を給與せられる、

軍人救護を受けんとする者は、住居地の地方長官に願ひ出るのであるが其の手續等は住居地の市區長村の兵事係等に申し出でて指示を受くるを便とする

（ハ）軍人遺族徽章（昭和六年八月三日勅令號二〇四號軍人遺族徽章令、同年八月四日陸海軍省令第一號軍人遺族徽章令施行規定）

戰死者の遺族に戰死軍人の遺族たることの表象として授與せられる、遺族徽章は各種の慰弔時祭典其の他の場合に佩用して其の名譽を表象する爲めに最近制定せられたものである

願書は遺族から陸軍大臣又は海軍大臣に提出するのであるが、詳細は市區町村役(所)場又は陸軍省人事局若しくは海軍省人事局に問合せ其の指示を受くるを便とする

其の他靖國神社に合祀せられたる軍人の遺族には靖國神社例大祭、臨時大祭に際して昇殿參拜其の他特別拜觀等が

而して參拜上京の爲には遺族の申請（陸軍省官房又は海軍省人事局宛）鐵道の割引證を下付せられる

傷痍軍人

（イ）軍事救護—傷病の爲に生活困難な事情にある場合には地方廳から一定の金錢又は物品を給與せられる、手續き等は遺族の項に述べた通りである

（ロ）軍人傷痍徽章（大正十三年八月二十六日勅令第一九九號軍人傷痍徽章令、同年八月二十七日陸軍省令第二十七號同日海軍省令第八號）

戰（公）傷病に依り恩給法に依つて増加恩給又は傷病賜金を下賜せられたはに願出に依つて授與せられる

軍人傷病徽章は各種の葬弔時祭典其の他の場合に佩用して其の名譽を表象するものであつて、増加恩給の受給者である場合には鐵道無賃乘車の特典もある

手續き不案内の向は最寄りの聯隊區司令部若しくは陸軍省人事部海軍省人事部に申し出て指示を受くるを便とする

海の外から

□飛行機の急速離陸機

米國人アロンゾ、マザー氏は飛行機が急速に離陸する車輪機を造つた機頭の下部兩側に一對の車輪を增設附着せしめ離陸の際飛行士がスウキッチを押すと同時に、車輪は上空に向き離陸と同時に機頭は機体を離れて地上に殘る樣に出來てゐる

□停車即刻の急停車器

某ロシヤ人が楔形コイル裝置の急停車器を造り、ロンドンの警官の目前で實驗して驚愕せしめた、此器械を使用すると急行列車は丙呎以內で停車し、自動車、バス等にも備へ付け急停車の際車体のスウキッチを押すと直に車輪の前方に落ちて直ちに停車する

ラジオ欄

東京後六、〇〇 ニュース 東京中央放送局編輯
東京後六、二〇 時事解說（滿洲語）氣象豫報、及滿洲語ニュース
新京後七、三〇 ニュース（英語）
新京後七、四五 ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇 ニュース（朝鮮語）
東京後八、一五 ニュース 氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇 時報
東京後八、三一 ニユース 東京中央放送局編輯

二十二日(水)奉天
奉天前一一、〇五 音樂
一一、四〇(內地向) 滿洲國軍隊 レコード
奉天後五、〇〇 錢行金銀相場商業・信社
新京後五、二〇 演藝

三月二十二日 舊二月廿七日 水曜 丁亥 佛滅 成 壁宿

●一白の人 自然と幸福の入り來る日にて名弘開店等吉 乙と亥と丑が吉
●二黒の人 苦勞は妻の現はれざる日短還は殊に愼む事 丁と庚と辛が吉
●三碧の人 約束事は大小となく注意すべき日後悔あり 未と申と亥が吉
●四綠の人 吉運に向ひ事業の擴張など殊に適當せる日 乙と未と亥が吉
●五黄の人 常業を大切に守るべきは無事の日たるべし 丁と辛と丑が吉
●六白の人 進まんとすれども上より押へらる逆運の日 乙と丁と庚が吉
●七赤の人 不拔の氣を養ひ堅固に進む時は成する日 甲と辛と寅が吉
●八白の人 入る事少なく出る事多き日油斷なきが安全 丙と庚と丑が吉
●九紫の人 長上の援助引立あり充分に進展すべき吉日 戊と亥と癸と吉

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	二〇八〇	氷鯛	一九〇
チヌ鯛	六五二二	マグロ	一二五八
ニベ	一一八二	ブリ	三二一八
サワラ	五一	サバ	一一六八
カレイ	一五七	ヒラメ	一一四七
ボラ	一一九	ニシン	一〇八
マナカツオ	一		
ハゲ	五二	メバル	二〇
サヨリ	一〇二五九	ホーボ	一五
タコ	二二二〇	イヒタコ	二六
甲イカ	一〇四八四	水イカ	二〇
イセエビ	二一一〇	車エビ	一八〇〇
コエビ	四二	カニ	八九一三
アナゴ	一二八〇	アワビ	四七二二
カキ	二三五〇	シジミ	八

四月「少女達と死」号（特價）六十錢

婦人公論

本日発賣

櫻內明枝夫人との一問一答

春に逆いて慘ましくも散つて行つた本子孃の自殺の原因は何であつたか。父と母とが泌みぐと語る心境を聽け

■櫻內本子さんの手紙 ■小原きく（藝名太郎）の生ひ立ち

明枝夫人を中心にお子さん達

娘本子の面影を追ふ……櫻內辰郎

★少女は何故自殺したか……土田杏村
★青春期の死の空想と死への憧れ……青木誠四郎
★誤れる女性の羞恥……醫學博士 小倉清太郎

四十七年の夢實る（險の母に會ふの記）……長谷川伸

□聯盟脫退後の日本はどうなるか……棟尾松治
□米國最初の女大臣フランセス・パーキンス……東一郎
□（經濟講座）産地から臺所まで……小汀利得
□幼稚園は果して子供にとつてよいか……山下德治
□（外國文學講座）イプセンの生活とその作品……中村吉藏

西條八十監輯 春の東京案内 アミ版特輯

内外時評……山川菊榮
軍事豫算の通過
女子勞働の排斥
社會主義は女を買るか
墮胎禁止法の改正

（口繪）花と麗人
制服を脫いで
モダン茶の湯
生産地から消費まで
流行のマフラ
うらゝか（アート）
代理部の案內
西洋美術解說
滿洲國の春（アート）

蘇翁小話……德富蘇峰
★春・四月の生物曆……原田三夫
（隨筆）櫻咲く頃……森田たま
短歌壇……釋迢空選
□春を唄ふ（短歌）……若山喜志子
□世相見學……島中雄作

婦人公論談話室（讀者相談）……佐伯米子
古袴利用の洋服の作り方……岩崎春子
★春のアフターヌンドレスの作り方……オデット
洋服の裁屑で出來る手藝品……小幡綮子
ラファエロの聖母……坂垣鷹穗
代理部案內・讀者ルーム
美容相談・公論病院
洋裝相談・グループ便り

春の美容

必ず役立つ新しい化粧法の大特輯頁

□肥える體操とやせる體操
□春の髮と流行のカール
□和装洋装くらべ
□お顏の艶をよくする卵の美顏術
□少しのことで變るお化粧のトリック
□背と中の新美容術
□女學校卒業からお見合迄の美容心得
奥 都下一流の美容師を總動員して、各モデル 入 ●を中心に專門の研究による 査 化粧法を發表した必ず 問 美人になれる座談會

裁かれる私の貞操

身を犧牲にしたその—いたましい心境は—谷崎龍子

★私は日本孃の誘惑と如何にして戰つてゐるか……グライエル
★吾が罪の一生（妖婦懺悔錄）……千坂光子

素晴しい小說欄
▲女優……北村小松
▲お千代傘……吉川英治
▲青い寢室……林房雄
▲女性は强し……佐々木邦
▲それでも敢てした女……細川民樹
▲黄昏の薔薇……德田秋聲
▲男裝の麗人……村松梢風
▲墓石の言葉……阿部ツヤコ

病人料理……科學的にみた病人向き料理の紹介……佐藤見子
美味しいバターの見分け方……ダン道子
家庭ソースの作り方……若林若子
鯛一尾をおいしく料理する法……秋穗敬子
櫻咲く四月のお獻立表
春のお葉の料理……宮澤ひさ

產兒制限成功報告書

▲肺結核とその食餌……稻垣敏澄
▲西洋家具の手入れ法……井上猛
組織膜移殖の新避妊法 安全目測定法で失敗はなかった
醫學博士鈴木堪忍先生が、その批判を試みられます

中央公論社 東京驛前丸ビル五階 振替東京三四番

三原山モデル小說 熔岩の徑

吉田絃二郎

情熱の詩人が、精密な調べの後に筆を執つた三原山事件のモデル小說。その一句一句の全てが氏の胸に沸る血潮から迸り出てゐる。そして「この小說から生きる力を汲み取つて欲しい」と若草の如くすくすく強い六十枚の情熱的力作

三原山事件の關係者と一流教育家とを網羅した 少女達と死の座談會

實錄の受持教諭各氏、學友及び一流敎育家各氏の御出席を願つた座談會は今月雜誌界の白眉でせう。問題を如何に解決してゐるか。必讀の記事です。その他、三原山事件の記事は、正しい認識のもとに、重要なる社會問題として充分に扱つてあります。

■三原山事件をさぐる……小山義一
■三原山挽歌……學友數十氏
■大自然にかへつた友……西浦とめ
■三枝子よ何處へ……實母眞許靜子
■御神火に頌を捧ぐ……實父松本市太郎
■富田昌子を訪れて……本誌記者
■三原山哀歌……西條八十

右富田昌子さん 左松本貴代子さん

別冊附錄 函入美麗 處女讀本

名古屋醫大教授 醫學博士 杉田直樹著

女性の凡ゆる不幸は性的無智から……正しい性教育こそ、女性をその不幸から救ふ唯一の鍵です。どうぞ本書に依つて、あなたの幸運の途の第一歩を力強く踏み出して下さい

杉田博士は、今迄の性敎育書に飽き足らず、嚴正な立場からこの書を公にされました。誰の前で讀まうと決して赤面なさるやうなものではありません。性敎育の必要、それは申す迄もないこと。本書に依つて、性知識の鍵をお握り下さい。そして、やがてあなたの幸福なる生活の第一歩へ……

黒船往來

禁轉載上映及上演　（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第四十二回

山窩探査（四）

左方の傾斜をたどつた若い夏川左京は、若いだけに元氣にまかせて、山窩探査の眼は細密をきはめた。

雜草を分け、櫟柏の枝を拂ひ、左右縱横に進んでいつた。が、左京の眼にも、山窩群生のケ蹟は發見らない。

——だが、此山中に山窩一本孤立して發生する道理がない。きつと、この雜草つづきに山窩の族生するところ、つまり紫金の瘴氣の立昇る地域があるにちがひない——

探檢家の執心ほどおそろしいものはない。いま一歩で峠を越し、箱館表へ到着し、奉行所の役宅で一風呂貰ひ、旅の垢を洗ひ落としのう〳〵した氣持にかへらうといふ慾望すらわすれおとぎ話の實の山をさぐるやうな架空な足取りで、なほも深く傾斜路を分け入るのだつた。

と、とやがてこれも小一刻ほどで武七郎が耳にしたやうな、山間の跫音をきいた。

『はてな』

しかしこれは、武七郎のときのやうな猪とも、石虎とも、跳兎ともおもふ暇を與へず、足音の主はいきなり、彼の面前へ立現れた。

しかもこの足音の主……潰メたやうな手拭を頰かむりし、尻切半天を纒ふた漁夫體の男は、やはり何かを探し求めてゐるらしく、うろ〳〵と、樹林の中をうろついてる。

——まさか、この男も、山窩族生のケ蹟をさがしあるいてゐるのではあるまいな。

左京は立とまつてじつと男の樣子をうかがつた。すると、漁夫體の男はおへつてづか〳〵と左京の身邊へ近よつて來た。

『旦那……』底光りする白い眼をむけて、突然先方から話かけて來たので、左京はちよつと出足をくぢかれたかたち

『何用ぢや』われながら、間延びした態勢だつた。

『旦那ア、いましがた、このあたりで女ひとり見かけませんでしたかな』

『女？……この山中に、そのやうなものは見受けなンだ』

『はてね……』

『こりや』

『へえ』

『そちの尋ねる女といふのは何者ぢや』

『へえ……なアに、ただのアイヌ娘でさア、そのまゝ漁夫體の男は行き過ぎようとする。

『こりや、下郎』

『……』

『そちは、そのアイヌ娘のあとをおふて參つたのか』

『まア、いつて見りや、そんな事ので……』

『うむ、一時の快樂をむさぼらうとする、そちは痴者ぢやな』

『ちよ、冗談でせう』

『いや、此山中において女一人あとをおふは、まさしくそれに違ない』

『なら、何とする？』漁夫體の男は急に態度を改めた。

『拙者、それを邪魔してやらう』

血氣の夏川はそこ迄言葉をはきました。

『うふ。他人の戀路の邪魔する奴は犬に喰はれて死んぢまへ……といふ唄の文句にさへあら』

『なに？』

『いや、これはとんだ口輕で、まつぴら……ところで旦那、まつくその女を見受けませんかな』

『くどいわ』

『ちや、縁なき衆生だ！』

漁夫體の男は捨科白を殘してそのまゝあつさり行過ぎた。

『はてな』左京はいつまでもそのうしろ姿を眼でおふた。容姿や口吻では、いかにも漁夫體に化けてゐるが、その言葉の調子、態度、物腰で、どこか二本差したことのある人間のやうだと睨むだ。

『はてな……』